

注3

大学番号：私182

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

名古屋学院大学スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名古屋学院大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウゴウキカクカ 総合企画課 カチヨウホ 課長補佐 オオサワタカシ 大澤隆志

電話番号 052-678-4077

（夜間） 052-678-4080

F A X 052-683-0410

e-mail kikaku@ngu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ健康学部

＜こどもスポーツ教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	28
4. 既設大学等の状況	30
5. 教員組織の状況	32
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人名古屋学院大学

(2) 大学名

名古屋学院大学

(3) 大学の位置

瀬戸キャンパス

〒480-1298

愛知県瀬戸市上品野町1350

[名古屋キャンパスしろとり
〒456-8612
愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イナガキ タカシ) 稲垣 隆司 (平成24年8月)	(スエヤス ケンジ) (インデン ヨシオ) 未安堅二 因田 義男 (平成27年8月) (平成30年8月)	任期満了のため変更 平成27年8月3日(28) 任期満了のため変更 平成30年8月3日(元)
学長	(キブネ ヒサオ) 木船 久雄 (平成23年4月)	(コバヤシ コウイチ) 小林 甲一 (平成29年4月)	任期満了のため変更 平成29年4月1日(29)
学部長	(ノムラ ヨシカズ) 野村 良和 (平成27年4月)	(サイトウ ケンジ) 齋藤 健治 (平成30年4月)	任期満了のため変更 平成30年4月1日(30)
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
スポーツ健康学部 こどもスポーツ 教育学科 学士（こどもスポーツ教育）	体育関係 教育学・保育 学関係	4年	50人	-人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	50人 (-) [-]	-人	0.57倍	0.66倍									
志願者数	91 (-) [-]	-	163 (-) [-]	-	154 (-) [-]	-	152 (-) [-]	-	247 (1) [-]	-			
受験者数	89 (-) [-]	-	160 (-) [-]	-	139 (-) [-]	-	147 (-) [-]	-	235 (1) [-]	-			
合格者数	76 (-) [-]	-	138 (-) [-]	-	117 (-) [-]	-	117 (-) [-]	-	194 (1) [-]	-			
B 入学者数	12 (-) [-]	-	38 (-) [-]	-	39 (-) [-]	-	26 (-) [-]	-	50 (1) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	0.24		0.76		0.78		0.52		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	12 [-] (-)	- [-] (-)	38 [-] (-)	- [-] (-)	39 [-] (-)	- [-] (-)	26 [-] (-)	- [-] (-)	50 [-] (-)	- [-] (-)	平成28年度に他学科へ転出者3名が発生し、平成29年度新入生39名と他学部より転入者1名を含め87名になった。 (29) 平成29年度に退学者3名と除籍者2名と他学科へ転出者2名が発生し、平成30年度新入生26名を含め106名になった。 (30) 平成30年度に退学者1名、除籍者1名、他学科への転出者2名が発生した。令和元年度は、新入生50名、編入学生1名、再入学生1名を含め145名になった。 (元)
2年次	/		12 [-] (-)	- [-] (-)	38 [-] (-)	- [-] (-)	36 [-] (-)	- [-] (-)	24 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		10 [-] (-)	- [-] (-)	35 [-] (-)	- [-] (-)	36 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		9 [-] (-)	- [-] (-)	35 [-] (-)	- [-] (-)	
計	12 [-] (-)	-	50 [-] (-)	-	87 [-] (-)	-	106 [-] (-)	-	145 [-] (-)	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	12人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	50人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	87人	5人	平成27年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			平成28年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(1人)
			平成29年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(1人)
平成30年度	106人	2人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	1人	0人	進路変更(1人)
			平成30年度	1人	0人	除籍(1人)
令和元年度	145人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		7人		7人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{87} = \boxed{5.74} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{106} = \boxed{1.88} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{145} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
キリスト教	キリスト教概説	1前	2									兼1	
	キリスト教概説	1後	2									兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			5	5	4	1				
	基礎セミナーⅡ	1後	2			5	5	4	1				
	キャリアデザイン1a	1前	2									兼1	
	キャリアデザイン1b	1後	2									兼1	
	キャリアデザイン2a	2前	2									兼1	
	キャリアデザイン2b	2後	2									兼1	
	キャリアデザイン3a	3前	2									兼1	
	キャリアデザイン3b	3後	2									兼1	
	ボランティア学	1・2・3・4前	2										兼3
	ボランティア演習	1・2・3・4前・後	2										兼1
インターンシップ	1・2・3・4前・後	2										兼1	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2									兼1	
	哲学史	1・2・3・4後	2									兼1	
	心身関係論	1・2・3・4前	2									兼1	
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	キリスト教人間学	2・3・4前	2									兼1	
	死生学	1・2・3・4前	2									兼1	
	臨床心理学	1・2・3・4前	2									兼1	
	倫理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	社会学入門	1・2・3・4前	2									兼1	
	宗教社会学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
社会的教養	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	現代社会と法律	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	暮らしと法律	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	会計入門	1・2・3・4後	2									兼1	
	現代社会と福祉	1・2・3・4後	2									兼1	
	数学	1・2・3・4前	2									兼1	
	統計学	1・2・3・4後	2									兼1	
	化学	1・2・3・4前	2									兼1	
	生物学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
自然理解	地球科学概論	1・2・3・4前	2									兼1	
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2									兼1	
	人類学	1・2・3・4前	2									兼1	
	物理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	生命倫理	1・2・3・4後	2									兼1	
	日本史	1・2・3・4前	2									兼1	
歴史文化理解	日本文化史	1・2・3・4後	2									兼1	
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2									兼1	
	陶芸論	1・2・3・4前	2									兼1	
	陶芸演習	1・2・3・4後	2									兼1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教	(削除)											
	(削除)											
	キリスト教概説1	1前	2									兼1
	キリスト教概説2	1後	2									兼1
	聖書学	2前	2									
	キリスト教倫理	2後	2									
自己理解と自己開発	キリスト教史(未開講)	1後	2									
	基礎セミナー	1前	2			2	3	1				
	(削除)											
	発展セミナー	1後	2			2	3	1				
	キャリアデザイン1a	1前	2									兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2									兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2									兼1
	キャリアデザイン2b	2後	2									兼1
	(削除)											
	(削除)											
人間理解	ボランティア学(未開講)	1・2・3・4前	2									兼0
	ボランティア演習	1・2・3・4後	2									兼1
	(削除)											
	インターンシップ1	1・2・3・4前・後	2									兼1
	インターンシップ2	1・2・3・4前・後	2									兼1
	(削除)											
社会的教養	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
自然理解	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
歴史文化理解	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											
	(削除)											

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
N G U 教養スタンダード科目	環境理解	環境科学	1・2・3・4後	2								兼1	
		生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
		地域生態論	1・2・3・4前	2								兼1	
		地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1	
	社会的教養	身体理解	スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1		1	2	1	1			
			スポーツ初級B	1・2・3・4前・後	1		1	2	1	1			
			スポーツ中級A	2・3・4前・後	1		1						
		地域理解	スポーツ中級B	2・3・4前・後	1								兼1
			スポーツ上級A	3・4前・後	1								兼1
			スポーツ上級B	3・4後	1								兼1
			地域商業まちづくり学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	言語とコミュニケーション	歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
		地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後	2								兼1	
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後	2								兼1	
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後	2								兼1	
上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2								兼3			
言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2								兼2		
	日本語表現上級	1前・後	2								兼2		
	基礎英語1	1前	1								兼2		
	基礎英語2	1後	1								兼2		
	英会話1	1前	1								兼1		
	英会話2	1後	1								兼1		
	実用英語演習1	2・3・4前	1								兼1		
	実用英語演習2	2・3・4後	1								兼1		
	情報英語演習1	2・3・4前	1								兼1		
	情報英語演習2	2・3・4後	1								兼1		
	手話	1・2・3・4前	1								兼1		
手話上級	1・2・3・4前	1								兼1			
情報理解	情報処理基礎	1前	2								兼1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
N G U 教養スタンダード科目	環境理解	(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
		(削除)										
	身体的教養	身体理解	(削除)									
			(削除)									
			(削除)									
		地域理解	(削除)									
			(削除)									
			(削除)									
情報	情報処理基礎	1前	2								兼1	
言語とコミュニケーション	日本語表現	1後	2			1					兼0	
	日本語表現上級	1後	2								兼1	
	基礎英語1	1前	1								兼3	
	基礎英語2	1後	1								兼3	
	英会話1	1前	1								兼4	
	英会話2	1後	1								兼4	
	実用英語1(未開講)	2・3・4前	1								兼1	
	実用英語2	2・3・4後	1								兼1	
	情報英語1(未開講)	2・3・4前	1								兼1	
	情報英語2	2・3・4後	1								兼1	
(削除)												
(削除)												
情報理解	(情報へ移動)											
歴史・文化の理解	【教養】日本史	1・2・3・4後	2								兼1	
	【教養】世界史(未開講)	1・2・3・4前	2									
	【教養】日本文学(未開講)	1・2・3・4前	2									
	【教養】外国文化論	1・2・3・4後	2				1					
	【教養】文化人類学	1・2・3・4前・後	2								兼2	
	【教養】陶芸論	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	【教養】陶芸演習	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	【教養】政治学	1・2・3・4後	2				1					
	【教養】国際政治学(未開講)	1・2・3・4前	2									
	【教養】国際関係論(未開講)	1・2・3・4後	2									
社会の理解	【教養】平和学	1・2・3・4後	2				1					
	【教養】法学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	【教養】日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	【教養】経済学	1・2・3・4前	2								兼1	
	【教養】経営学(未開講)	1・2・3・4前	2									
	【教養】統計学	1・2・3・4後	2								兼1	
	【教養】社会学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	【教養】教育学(未開講)	1・2・3・4後	2									

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
N G U 教養スタンダード科目												
教職教養	教育原理	1後	2									兼1
	特別活動論	2前	2									兼1
	道徳教育論	2後	2									兼1
	生徒・進路指導論	2後	2									兼1
	小計(77科目)	-										
学部共通科目	健康科学概論	1前	2			1	2					兼3
	スポーツ科学概論	1後	2						1			兼5
	スポーツ原理	2後	2									兼1
	スポーツ心理学	1後	2									兼1
	健康心理学	3後	2									兼1
	スポーツ社会学	2前	2									兼1
	スポーツ生理学	2前	2									兼1
	栄養学概論	2後	2									兼1
	健康レクリエーション論	2後	2									兼1
	医学一般(概論)	2前	2									兼1
	看護学概論	3前	2									兼1
	国際スポーツ健康事情	1・2・3・4前	2			1						
	スポーツ実技9(バレーボール)	2後	1									兼1
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前	1									兼1
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1									兼1
	スポーツ実技12(アкваビクス)	2後	1									兼1
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2後	1			1						
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1									兼1
	スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1									兼1
小計(19科目)	-											
学科基礎科目	こどもスポーツ教育論	1後	2			1	1					
	こども健康教育論	1前	2			1						
	発育発達とスポーツ	1後	2			1						
	生涯発達心理学	1後	2									兼1
	地域スポーツ論	2後	2						1			
	初等教育原理	2前	2									兼1
	保育原理	2後	2			1						
	障害児の保育と教育	3前	2									兼1
	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3後	1			1						兼2
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3前	1				1	1				兼1
	児童の体づくりと動きづくり	1後	1									兼1
	こども運動指導論	2前	2			1	1	1				
	こどもの表現運動	2前	1									兼1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
N G U 教養スタンダード科目	【教養】哲学	1・2・3・4前	2									兼1
	【教養】心理学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	【教養】数学	1・2・3・4後	2									兼1
	【教養】物理学	1・2・3・4後	2									兼1
	【教養】化学	1・2・3・4前	2									兼1
	【教養】地学	1・2・3・4前	2									兼1
	【教養】生物学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	【教養】環境学	1・2・3・4前・後	2									兼2
	【教養】情報処理論	2・3・4後	2									
	【教養】スポーツ初級a	1・2・3・4前・後	1					2				兼5
	【教養】スポーツ初級b	1・2・3・4後	1				1		1			兼4
	地域理解	まちづくり学	1・2・3・4前	2								
まちづくり演習(未開講)		1・2・3・4後	2									
上級まちづくり演習		2・3・4前	2									兼2
教職	教育原理	1後	2									兼1
	特別活動論	2前	2									兼1
	道徳教育論	2後	2									兼1
	生徒・進路指導論	2後	2									兼1
	小計(62科目)	-										
学部共通科目	健康科学概論	1前	2			1						兼4
	スポーツ科学概論	1後	2						1	0		兼4
	スポーツ原理	2前	2									兼1
	スポーツ心理学	1後	2									兼1
	健康心理学	3後	2									兼1
	スポーツ倫理学	3後	2									
	スポーツ社会学	2前	2									兼1
	スポーツ生理学	2前	2									兼1
	栄養学概論	2後	2									兼1
	健康レクリエーション論	2後	2									兼1
	医学一般(概論)	2前	2									兼1
	看護学概論	3後	2									兼1
	国際スポーツ健康事情	1・2・3・4前	2					0				兼1
	(学科基礎科目へ移動)											
	(学科基礎科目へ移動)											
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1									兼1
	スポーツ実技12(アкваビクス)	2前・後	1									兼1
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2前	1					1				
スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1									兼1	
スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1									兼1	
小計(18科目)	-											
学科基礎科目	こどもスポーツ教育論	1後	2				1	1	0			
	(削除)											
	発育発達とスポーツ	1後	2				1	0				
	(削除)											
	地域スポーツ論	2後	2						1	0		
	初等教育原理	2前	2									兼1
	保育原理	2前	2				0	1				兼0
	(削除)											
	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3前	1				1	0				兼3
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3後	1					1	1	0		兼2
児童の体づくりと動きづくり	1後	1									兼1	
こども運動指導論	2前	2				1	1	1	0			
(削除)												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目												
	レクリエーション・ニュースポーツ	2後	1									兼1
	アダプテッドスポーツ	3前	1									兼1
	小計(15科目)	-										
	こどものからだの発育発達	3前	2			1						
こどものこころの発達	3後	2			1							
こどもと健康	2後	2			1							
こどもの生活と健康行動	3後	2			1							
こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)	1後	2			1	1						
こどもの食と栄養	3前	2									兼1	
こどもと地域社会	2後	2						1				
健康フィールドワーク	3前	1			1							
教育・体力測定評価	3後	2			1							
学校保健・安全論	3前	2			1							
生涯スポーツ論	2後	2			1							
健康レクリエーション実習	3前	2			1							
こども家庭福祉論	3前	2									兼1	
障害者福祉論	3前	2									兼1	
発達障害と特別支援教育	3前	2									兼1	
こどもの医学	3後	2									兼1	
救急処置の理論と実習	2前	1									兼1	
学科専門科目	体育科教育法(初等)	2前	2					1				
	体育科教育実践論	4前	2					1				
	国語科教育法	2前	2			1						
	国語科教育実践論	4前	2			1						
	算数科教育法	2前	2			1						
	算数科教育実践論	4前	2			1						
	理科教育法	2後	2			1						
	理科教育実践論	4前	2			1						
	社会科教育法	2後	2					1				
	社会科教育実践論	4前	2					1				
	音楽科教育法	3後	2					1				
	図画工作科教育法	3後	2									兼1
	家庭科教育法	3前	2									兼1
	生活科教育法	2前	2									兼1
	初等体育	3後	2					1				
	児童体育	3後	2					1				
	初等国語(書写を含む)	3後	2			1						
	初等算数	3前	2					1				
	初等算数(演習)	4前	2									
	初等理科	3後	2			1						
	初等社会	3前	2					1				
	初等生活	2後	2									兼1
	初等音楽	4前	2					1				
	初等音楽(器楽)	4前	2					1				
	初等図画工作	4前	2									兼1
初等家庭科	4前	2									兼1	
教育課程の意義と編成	2前	2									兼1	
特別活動の理論と方法	2前	2									兼1	
道徳教育の理論と方法	2後	2									兼1	
進路指導・生徒指導論	2後	2					1					
教職原論	1前	2									兼1	
教育心理学1	1前	2			1							
教育心理学2	1後	2			1							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	スポーツ実技9(バレーボール)	2後		1								兼1
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前		1								兼1
	スポーツ実技19(レクリエーション・ニュースポーツ)	2前		1								兼1
	スポーツ実技20(アダプテッドスポーツ)	3前		1								兼1
	小計(13科目)	-										
学科専門科目	こどものからだの発育発達	3前		2			1	0				
	幼児理解の理論と方法	3後		2								
	こどもと健康	1前		2			1					
	(削除)											
	こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)※	1後		2			1	1	0			
	こどもの食と栄養	3後		2								兼1
	(削除)											
	健康フィールドワーク	3前		1			1	0				兼1
	(削除)											
	学校保健・安全論	3前		2			0					兼1
	生涯スポーツ論	2前		2				1				
	健康レクリエーション実習	3前		2				1				
	(削除)											
	障害者福祉論	3前		2								兼1
	(削除)											
	こどもの医学	3後		2								兼1
	(削除)											
	体育科教育法(初等)	2前		2				1	0			
	体育科教育実践論(未開講)	4前		2				1	0			
	国語科教育法	2前		2				1				
	国語科教育実践論	4前		2				1				
	算数科教育法	2前		2				1	0			
	算数科教育実践論	4前		2				1	0			
	理科教育法	2後		2				1				
	理科教育実践論(未開講)	4前		2				1				
社会科教育法	2後		2				1	0				
社会科教育実践論	4前		2				1	0				
音楽科教育法	3後		2					1				
図画工作科教育法	3後		2								兼1	
家庭科教育法	3前		2								兼1	
生活科教育法	2前		2								兼1	
初等体育	3後		2					1	0			
(削除)												
初等国語(書写を含む)	3前		2				1					
初等算数	3前		2				1	0				
初等算数(演習)	4前		2				1					
初等理科	3後		2				1					
初等社会	3前		2					1	0			
初等生活	2後		2								兼1	
初等音楽	4前		2					1				
(削除)												
初等図画工作	4前		2								兼1	
初等家庭科(未開講)	4前		2								兼1	
教育課程の意義と編成	2前		2								兼1	
特別活動の理論と方法	2前		2								兼1	
道徳教育の理論と方法	2後		2								兼1	
進路指導・生徒指導論	2後		2					1				
教職原論	1前		2								兼1	
教育心理学1	1前		2				1					
教育心理学2	1後		2				1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初等教育科目	教育の制度と経営	2後	2								兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1					
	教育相談の基礎	3後	2			1					
	こどもの外国語活動指導法	3後		2							兼1
	学級経営論	3後		2							兼1
	特別支援教育論	4前		2							兼1
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		3	3	2			
	教育実習1(小学校)	3後		1		3	3	2			
	教育実習2(小学校)	4前		3		3	3	2			
	保育内容指導法(言葉)	2前		2		1					兼1
保育内容演習(言葉)	3前		2							兼1	
保育内容指導法(環境)	2前		2							兼1	
保育内容演習(環境)	3前		2							兼1	
保育内容指導法(健康)	2前		2							兼1	
保育内容演習(健康)	3前		2							兼1	
保育内容指導法(人間関係)	2後		2							兼1	
保育内容演習(人間関係)	3後		2							兼1	
幼児教育科目	保育内容指導法(表現・音楽)	2後		2				1			
	保育内容演習(表現・音楽)	3後		2				1			
	保育内容指導法(表現・造形)	2後		2				1			
	保育内容演習(表現・造形)	3後		2				1			
	保育内容総論	1後		2		1					
	保育課程論	2前		2		1					
	幼児体育	3後		2							兼1
	児童文化	3前		2		1					
	家庭支援論	3後		2							兼1
	総合表現活動	4前		2				2			
演習科目	幼稚園実習事前・事後指導	3後		1		1		2			
	教育実習1(幼稚園)	3前		1		1		2			
	教育実習2(幼稚園)	3後		3		1		2			
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		4	3	4	0		
	専門演習	2前		2		5	5	4	1		
	研究演習	3通		2		5	5	4	1		
	卒業研究	4通		2		5	5	4	1		
	小計(84科目)	-									
	合計(195科目)	-									

卒業要件及び履修方法

以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。
 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上
 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上
 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上
 学科専門科目：必修72単位、選択科目から19単位以上
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初等教育科目	教育の制度と経営	2後	2								兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1					
	教育相談の基礎	3後	2			1					
	英語科教育法	3後	2								兼1
	初等英語	3前	1								
	学級経営論	3前		2							兼1
	特別支援教育論	3前		1							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前		2							
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		4	4	0			
	教育実習1(小学校、インターンシップを含む)	3後		1		4	4	0			
教育実習2(小学校)	4前		3		4	4	0				
学科専門科目	保育内容指導法(言葉)	2後		2		1					兼1
	(削除)										
	保育内容指導法(環境)	2前		2							兼1
	(削除)										
	保育内容演習(言葉・環境)	3後		2							兼2
	保育内容指導法(健康)	2前		2							兼1
	(削除)										
	保育内容指導法(人間関係)	2後		2							兼1
	(削除)										
	保育内容演習(健康・人間関係)	3前		2							兼1
幼児教育科目	保育内容指導法(表現・音楽)	2前		2				1	0		兼0
	保育内容演習(表現・音楽)	3後		2				1	0		
	保育内容指導法(表現・造形)	2後		2					1		兼0
	保育内容演習(表現・造形)	3後		2					1		兼0
	保育内容総論	1後		2				0	1		兼0
	保育課程論	2前		2				0	1		兼0
	幼児体育	3後		2							兼1
	(削除)										
	(削除)										
	幼稚園実習事前・事後指導	3後		1		0	2	1			
演習科目	教育実習1(幼稚園)	3前		1		0	2	1			
	教育実習2(幼稚園)	3後		3		0	2	1			
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		4	5	0	0		
	専門演習	2前		2		1	1	0	0		
	研究演習	3通		2		5	5	0	0		
	卒業研究	4通		2		5	5	1	0		
	小計(73科目)	-									
	合計(166科目)	-									

卒業要件及び履修方法

以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。
 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上
 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上
 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上
学科専門科目：必修78単位、選択科目から13単位以上
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
トキス	キリスト教概説	1前	2									兼1	
	キリスト教概説	1後	2									兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			5	5	4	1				
	基礎セミナーⅡ	1後	2			5	5	4	1				
	キャリアデザイン1a	1前	2									兼1	
	キャリアデザイン1b	1後	2									兼1	
	キャリアデザイン2a	2前	2									兼1	
	キャリアデザイン2b	2後	2									兼1	
	キャリアデザイン3a	3前	2									兼1	
	キャリアデザイン3b	3後	2									兼1	
	ボランティア学	1・2・3・4前	2										兼3
	ボランティア演習	1・2・3・4前・後	2										兼3
インターンシップ	1・2・3・4前・後	2										兼1	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2									兼1	
	哲学史	1・2・3・4後	2									兼1	
	心身関係論	1・2・3・4後	2									兼1	
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	キリスト教人間学	2・3・4前	2									兼1	
	死生学	1・2・3・4後	2									兼1	
	臨床心理学	1・2・3・4前	2									兼1	
	倫理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	社会学入門	1・2・3・4前	2									兼1	
	宗教社会学	1・2・3・4後	2									兼1	
社会理解	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2									兼2	
	現代社会と法律	1・2・3・4前	2									兼1	
	暮らしと法律	1・2・3・4後	2									兼1	
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	会計入門	1・2・3・4後	2									兼1	
自然理解	現代社会と福祉	1・2・3・4後	2									兼1	
	数学	1・2・3・4前	2									兼1	
	統計学	1・2・3・4後	2									兼1	
	化学	1・2・3・4前	2									兼1	
	生物学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	地球科学概論	1・2・3・4前	2									兼1	
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2									兼1	
	人類学	1・2・3・4前	2									兼1	
	物理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	生命倫理	1・2・3・4後	2									兼2	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4前	2									兼1	
	日本文化史	1・2・3・4後	2									兼1	
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2									兼1	
	陶芸論	1・2・3・4前	2									兼1	
	陶芸演習	1・2・3・4後	2									兼1	
環境理解	環境科学(未開講)	1・2・3・4後	2									兼0	
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	地域生態論	1・2・3・4前	2									兼1	
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1	
社会的理解	スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1			1	1	1	0			兼4	
	スポーツ初級B	1・2・3・4後	1			1	1	0	1			兼5	
	スポーツ中級A	2・3・4前・後	1			1						兼1	
	スポーツ中級B	2・3・4前・後	1									兼1	
	スポーツ上級A	3・4前・後	1									兼1	
	スポーツ上級B	3・4後	1									兼1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
トキス	キリスト教概説	1前	2									兼1	
	キリスト教概説	1後	2									兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			5	5	4	1				
	基礎セミナーⅡ	1後	2			5	5	4	1				
	キャリアデザイン1a	1前	2									兼1	
	キャリアデザイン1b	1後	2									兼1	
	キャリアデザイン2a	2前	2									兼1	
	キャリアデザイン2b	2後	2									兼1	
	キャリアデザイン3a	3前	2									兼1	
	キャリアデザイン3b	3後	2									兼1	
	ボランティア学	1・2・3・4前	2										兼3
	ボランティア演習	1・2・3・4前・後	2										兼3
インターンシップ	1・2・3・4前・後	2										兼3	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2									兼1	
	哲学史	1・2・3・4後	2									兼1	
	心身関係論	1・2・3・4後	2									兼1	
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	キリスト教人間学	2・3・4前	2									兼1	
	死生学	1・2・3・4後	2									兼1	
	臨床心理学	1・2・3・4前	2									兼1	
	倫理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	社会学入門	1・2・3・4前	2									兼1	
	宗教社会学	1・2・3・4後	2									兼1	
社会理解	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	現代社会と法律	1・2・3・4前	2									兼1	
	暮らしと法律	1・2・3・4後	2									兼1	
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	会計入門	1・2・3・4後	2									兼1	
自然理解	現代社会と福祉	1・2・3・4後	2									兼1	
	数学	1・2・3・4前	2									兼1	
	統計学	1・2・3・4後	2									兼1	
	化学	1・2・3・4前	2									兼1	
	生物学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	地球科学概論	1・2・3・4前	2									兼1	
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2									兼1	
	人類学	1・2・3・4前	2									兼1	
	物理学	1・2・3・4後	2									兼1	
	生命倫理	1・2・3・4後	2									兼2	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4後	2									兼1	
	日本文化史	1・2・3・4後	2									兼1	
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2									兼1	
	陶芸論	1・2・3・4前	2									兼1	
	陶芸演習	1・2・3・4後	2									兼1	
環境理解	環境科学	1・2・3・4後	2									兼1	
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
	地域生態論	1・2・3・4前	2									兼1	
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1	
社会的理解	スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1			0	2	1	1			兼3	
	スポーツ初級B	1・2・3・4後	1			0	2	1	1			兼4	
	スポーツ中級A	2・3・4前・後	1			1						兼1	
	スポーツ中級B	2・3・4前・後	1									兼1	
	スポーツ上級A	3・4前・後	1									兼1	
	スポーツ上級B	3・4後	1									兼1	

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
N G U 社会的教養	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	上級まちづくり演習	2・3・4前・後		2							兼3
	小計(77科目)	-									
U 教養スタンダード科目	日本語表現	1前		2							兼1
	日本語表現上級	1前・後		2							兼2
	基礎英語1	1前	1								兼1
	基礎英語2	1後	1								兼1
	英会話1	1前	1								兼1
	英会話2	1後	1								兼1
	実用英語演習1	2・3・4前		1							兼1
	実用英語演習2	2・3・4後		1							兼1
	情報英語演習1	2・3・4前		1							兼1
	情報英語演習2	2・3・4後		1							兼1
情報理解	手話	1・2・3・4前		1							兼1
	手話上級	1・2・3・4前		1							兼1
	情報処理基礎	1前	2								兼1
	教育原理	1後	2								兼1
教職教養	特別活動論	2前	2								兼1
	道徳教育論	2後	2								兼1
	生徒・進路指導論	2後	2								兼1
	小計(77科目)	-									
学部共通科目	健康科学概論	1前	2			1	2				兼3
	スポーツ科学概論	1後	2					1			兼5
	スポーツ原理	2後	2								兼1
	スポーツ心理学	1後	2								兼1
	健康心理学	3後	2								兼1
	スポーツ社会学	2前	2								兼1
	スポーツ生理学	2前	2								兼1
	栄養学概論	2後	2								兼1
	健康レクリエーション論	2後	2								兼1
	医学一般(概論)	2前	2								兼1
	看護学概論	3前	2								兼1
	国際スポーツ健康事情	1・2・3・4前	2			1					
	スポーツ実技9(バレーボール)	2後	1								兼1
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前	1								兼1
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1								兼1
	スポーツ実技12(アкваビクス)	2後	1								兼1
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2後	1			1					
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1								兼1
	スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1								兼1
小計(19科目)	-										
学科基礎科目	子どもスポーツ教育論	1後	2			1	1				
	子ども健康教育論	1前	2			1					
	発育発達とスポーツ	1後	2			1					
	生涯発達心理学	1後	2								兼1
	地域スポーツ論	2後	2					1			
	初等教育原理	2前	2								兼1
	保育原理	2後	2			1					
	障害児の保育と教育	3前	2								兼1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
N G U 社会的教養	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前		2							兼1
	地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後		2							兼1
	上級まちづくり演習	2・3・4前・後		2							兼2
	小計(77科目)	-									
U 教養スタンダード科目	日本語表現	1前		2							兼2
	日本語表現上級	1前・後		2							兼2
	基礎英語1	1前	1								兼1
	基礎英語2	1後	1								兼1
	英会話1	1前	1								兼1
	英会話2	1後	1								兼1
	実用英語演習1	2・3・4前		1							兼1
	実用英語演習2	2・3・4後		1							兼1
	情報英語演習1	2・3・4前		1							兼1
	情報英語演習2	2・3・4後		1							兼1
情報理解	手話	1・2・3・4後		1							兼1
	手話上級	1・2・3・4後		1							兼1
	情報処理基礎	1前	2								兼1
	教育原理	1後	2								兼1
教職教養	特別活動論	2前	2								兼1
	道徳教育論	2後	2								兼1
	生徒・進路指導論	2後	2								兼1
	小計(77科目)	-									
学部共通科目	健康科学概論	1前	2			1	2				兼3
	スポーツ科学概論	1後	2					1			兼5
	スポーツ原理	2後	2								兼1
	スポーツ心理学	1後	2								兼1
	健康心理学	3後	2								兼1
	スポーツ社会学	2前	2								兼1
	スポーツ生理学	2前	2								兼1
	栄養学概論	2後	2								兼1
	健康レクリエーション論	2後	2								兼1
	医学一般(概論)	2前	2								兼1
	看護学概論	3前	2								兼1
	国際スポーツ健康事情	1・2・3・4前	2			1					
	スポーツ実技9(バレーボール)	2後	1								兼1
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前	1								兼1
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1								兼1
	スポーツ実技12(アкваビクス)	2後	1								兼1
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2後	1			1					
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1								兼1
	スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1								兼1
小計(19科目)	-										
学科基礎科目	子どもスポーツ教育論	1後	2			1	1				
	子ども健康教育論	1前	2			1					
	発育発達とスポーツ	1後	2			1					
	生涯発達心理学	1後	2								兼1
	地域スポーツ論	2後	2					1			
	初等教育原理	2前	2								兼1
	保育原理	2後	2			1					
	障害児の保育と教育	3前	2								兼1

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学科基礎科目	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3後	1			1				兼2
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3前	1				1	1		兼1
	児童の体つくりと動きづくり	1後		1						兼1
	こども運動指導論	2前		2		1	1	1		
	こどもの表現運動	2前		1						兼1
	レクリエーション・ニュースポーツ	2後		1						兼1
	アダプテッドスポーツ	3前		1						兼1
	小計(15科目)	-								
こどもスポーツ・健康科目	こどものからだの発育発達	3前		2		1				
	こどものこころの発達	3後		2		1				
	こどもと健康	2後		2		1				
	こどもの生活と健康行動	3後		2		1				
	こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)	1後		2		1	1			
	こどもの食と栄養	3前		2						兼1
	こどもと地域社会	2後		2				1		
	健康フィールドワーク	3前		1		1				
	教育・体力測定評価	3後		2		1				
	学校保健・安全論	3前		2		1				
	生涯スポーツ論	2後		2		1				
	健康レクリエーション実習	3前		2		1				
	こども家庭福祉論	3前		2						兼1
	障害者福祉論	3前		2						兼1
	発達障害と特別支援教育	3前		2						兼1
	こどもの医学	3後		2						兼1
救急処置の理論と実習	2前		1						兼1	
学科専門科目	体育科教育法(初等)	2前		2			1			
	体育科教育実践論	4前		2			1			
	国語科教育法	2前		2		1				
	国語科教育実践論	4前		2		1				
	算数科教育法	2前		2			1			
	算数科教育実践論	4前		2			1			
	理科教育法	2後		2		1				
	理科教育実践論	4前		2		1				
	社会科教育法	2後		2				1		
	社会科教育実践論	4前		2				1		
	音楽科教育法	3後		2				1		
	図画工作科教育法	3後		2						兼1
	家庭科教育法	3前		2						兼1
	生活科教育法	2前		2						兼1
	初等体育	3後		2				1		
	児童体育	3後		2				1		
	初等国語(書写を含む)	3後		2		1				
	初等算数	3前		2			1			
	初等算数(演習)	4前		2						
	初等理科	3後		2		1				
	初等社会	3前		2				1		
	初等生活	2後		2						兼1
	初等音楽	4前		2				1		
	初等音楽(器楽)	4前		2		1				
	初等図画工作	4前		2						兼1
	初等家庭科	4前		2						兼1
	教育課程の意義と編成	2前		2						兼1
	特別活動の理論と方法	2前		2						兼1
	道徳教育の理論と方法	2後		2						兼1
	進路指導・生徒指導論	2後		2		1				
	教職原論	1前		2						兼1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学科基礎科目	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3後	1			1				兼2
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3前	1				1	1		兼1
	児童の体つくりと動きづくり	1後		1						兼1
	こども運動指導論(未開講)	2前		2			1	1	1	
	こどもの表現運動	2後		1						兼1
	レクリエーション・ニュースポーツ	2前		1						兼1
	アダプテッドスポーツ	3前		1						兼1
	小計(15科目)	-								
こどもスポーツ・健康科目	こどものからだの発育発達	3前		2		1				
	こどものこころの発達	3後		2		1				
	こどもと健康	2後		2		1				
	こどもの生活と健康行動	3後		2		1				
	こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)	1後		2		1	1			
	こどもの食と栄養	3前		2						兼1
	こどもと地域社会	2後		2				1		
	健康フィールドワーク	3前		1		1				
	教育・体力測定評価	3後		2		1				
	学校保健・安全論	3前		2		1				
	生涯スポーツ論	2後		2		1				
	健康レクリエーション実習	3前		2		1				
	こども家庭福祉論	3前		2						兼1
	障害者福祉論	3前		2						兼1
	発達障害と特別支援教育	3前		2						兼1
	こどもの医学	3後		2						兼1
救急処置の理論と実習	2前		1						兼1	
学科専門科目	体育科教育法(初等)	2前		2			1			
	体育科教育実践論	4前		2			1			
	国語科教育法	2前		2		1				
	国語科教育実践論	4前		2		1				
	算数科教育法	2前		2			1			
	算数科教育実践論	4前		2			1			
	理科教育法	2後		2		1				
	理科教育実践論	4前		2		1				
	社会科教育法	2後		2				1		
	社会科教育実践論	4前		2				1		
	音楽科教育法	3後		2				1		
	図画工作科教育法	3後		2						兼1
	家庭科教育法	3前		2						兼1
	生活科教育法	2前		2						兼1
	初等体育	3後		2				1		
	児童体育	3後		2				1		
	初等国語(書写を含む)	3後		2		1				
	初等算数	3前		2			1			
	初等算数(演習)	4前		2						
	初等理科	3後		2		1				
	初等社会	3前		2				1		
	初等生活	2後		2						兼1
	初等音楽	4前		2				1		
	初等音楽(器楽)	4前		2		1				
	初等図画工作	4前		2						兼1
	初等家庭科	4前		2						兼1
	教育課程の意義と編成	2前		2						兼1
	特別活動の理論と方法	2前		2						兼1
	道徳教育の理論と方法	2後		2						兼1
	進路指導・生徒指導論	2後		2		1				
	教職原論	1前		2						兼1

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
初等教育科目	教育心理学1	1前	2			1				
	教育心理学2	1後		2		1				
	教育の制度と経営	2後	2							兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1				
	教育相談の基礎	3後	2			1				
	こどもの外国語活動指導法	3後		2						兼1
	学級経営論	3後		2						兼1
	特別支援教育論	4前		2						兼1
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		3	3	2		
	教育実習1(小学校)	3後		1		3	3	2		
	教育実習2(小学校)	4前		3		3	3	2		
	学科専門科目	保育内容指導法(言葉)	2前	2			1			
保育内容演習(言葉)		3前		2						兼1
保育内容指導法(環境)		2前	2							兼1
保育内容演習(環境)		3前		2						兼1
保育内容指導法(健康)		2前	2							兼1
保育内容演習(健康)		3前		2						兼1
保育内容指導法(人間関係)		2後	2							兼1
保育内容演習(人間関係)		3後		2						兼1
保育内容指導法(表現・音楽)		2後	2				1			
保育内容演習(表現・音楽)		3後		2			1			
保育内容指導法(表現・造形)		2後	2				1			
保育内容演習(表現・造形)		3後		2			1			
保育内容総論		1後	2			1				
保育課程論		2前	2			1				
幼児体育		3後		2						兼1
児童文化		3前		2		1				
家庭支援論		3後		2						兼1
総合表現活動		4前		2			2			
幼稚園実習事前・事後指導		3後		1		1	2			
教育実習1(幼稚園)		3前		1		1	2			
教育実習2(幼稚園)		3後		3		1	2			
教職実践演習(幼・小)		4後		2		4	3	4	0	
専門演習		2前		2		5	5	4	1	
研究演習		3通		2		5	5	4	1	
卒業研究		4通		2		5	5	4	1	
小計(84科目)		-								
合計(195科目)		-								
卒業要件及び履修方法										
以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上 学科専門科目：必修72単位、選択科目から19単位以上 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))										

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
初等教育科目	教育心理学1	1前	2			1				
	教育心理学2	1後		2		1				
	教育の制度と経営	2後	2							兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1				
	教育相談の基礎	3後	2			1				
	こどもの外国語活動指導法	3後		2						兼1
	学級経営論	3後		2						兼1
	特別支援教育論	4前		2						兼1
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		3	3	2		
	教育実習1(小学校)	3後		1		3	3	2		
	教育実習2(小学校)	4前		3		3	3	2		
	学科専門科目	保育内容指導法(言葉)	2後	2			1			
保育内容演習(言葉)		3前		2						兼1
保育内容指導法(環境)		2前	2							兼1
保育内容演習(環境)		3前		2						兼1
保育内容指導法(健康)		2前	2							兼1
保育内容演習(健康)		3前		2						兼1
保育内容指導法(人間関係)		2後	2							兼1
保育内容演習(人間関係)		3後		2						兼1
保育内容指導法(表現・音楽)		2前	2					1		
保育内容演習(表現・音楽)		3後		2				1		
保育内容指導法(表現・造形)		2後	2					1		
保育内容演習(表現・造形)		3後		2				1		
保育内容総論		1後	2			1				
保育課程論		2後	2			1				
幼児体育		3後		2						兼1
児童文化		3前		2		1				
家庭支援論		3後		2						兼1
総合表現活動		4前		2				2		
幼稚園実習事前・事後指導		3後		1		1	1	2		
教育実習1(幼稚園)		3前		1		1	1	2		
教育実習2(幼稚園)		3後		3		1	2			
教職実践演習(幼・小)		4後		2		4	3	4	0	
専門演習		2前		2		5	5	4	1	
研究演習		3通		2		5	5	4	1	
卒業研究		4通		2		5	5	4	1	
小計(84科目)		-								
合計(195科目)		-								
卒業要件及び履修方法										
以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上 学科専門科目：必修72単位、選択科目から19単位以上 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))										

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
トキス	キリスト教概説	1前	2								兼1
	キリスト教概説	1後	2								兼1
	基礎セミナー	1前	2			5	5	4	1		
	基礎セミナーⅡ	1後	2			5	5	4	1		
	キャリアデザイン1a	1前	2								兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2								兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2								兼1
	キャリアデザイン2b	2後	2								兼1
	キャリアデザイン3a	3前	2								兼1
	キャリアデザイン3b	3後	2								兼1
自己理解と自己開発	ボランティア学(未開講)	1・2・3・4前・後	2								兼3
	ボランティア演習	1・2・3・4前・後	2								兼4
	インターンシップ	1・2・3・4前・後	2								兼3
	哲学	1・2・3・4前	2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後	2								兼1
	心身関係論	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	キリスト教人間学	2・3・4前	2								兼1
	死生学	1・2・3・4後	2								兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前	2								兼1
人間理解	倫理学	1・2・3・4後	2								兼1
	社会学入門	1・2・3・4前	2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	現代社会と法律	1・2・3・4前	2								兼1
	暮らしと法律	1・2・3・4後	2								兼1
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後	2								兼1
	会計入門	1・2・3・4後	2								兼1
	現代社会と福祉(未開講)	1・2・3・4後	2								兼1
	社会的教養	数学	1・2・3・4前	2							
統計学		1・2・3・4後	2								兼1
化学		1・2・3・4前	2								兼1
生物学		1・2・3・4前・後	2								兼1
地球科学概論		1・2・3・4前	2								兼1
地球物理学概論		1・2・3・4後	2								兼1
人類学		1・2・3・4前	2								兼1
物理学		1・2・3・4後	2								兼1
生命倫理		1・2・3・4後	2								兼2
自然理解		日本史	1・2・3・4後	2							
	日本文化史	1・2・3・4後	2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前	2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後	2								兼1
	環境科学(未開講)	1・2・3・4後	2								兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地域生態論	1・2・3・4前	2								兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1
	歴史文化理解	スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1			0	2	1	1	
スポーツ初級B		1・2・3・4後	1			0	2	1	1		兼4
スポーツ中級A		2・3・4後	1			1					兼1
スポーツ中級B		2・3・4後	1								兼1
スポーツ上級A		3・4後	1								兼1
スポーツ上級B		3・4後	1								兼1
身体的理解											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
トキス	キリスト教概説	1前	2								兼1
	キリスト教概説	1後	2								兼1
	基礎セミナー	1前	2			2	1	1	0		
	基礎セミナーⅡ	1後	2			2	1	1	0		
	キャリアデザイン1a	1前	2								兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2								兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2								兼1
	キャリアデザイン2b	2後	2								兼1
	キャリアデザイン3a(未開講)	3前	2								兼1
	キャリアデザイン3b	3前・後	2								兼1
自己理解と自己開発	ボランティア学	1・2・3・4前	2								兼3
	ボランティア演習	1・2・3・4前・後	2								兼2
	インターンシップ	1・2・3・4前・後	2								兼3
	哲学	1・2・3・4前	2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後	2								兼1
	心身関係論	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	キリスト教人間学	2・3・4前・後	2								兼1
	死生学	1・2・3・4後	2								兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前	2								兼1
人間理解	倫理学	1・2・3・4後	2								兼1
	社会学入門	1・2・3・4前	2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	現代社会と法律	1・2・3・4前	2								兼1
	暮らしと法律	1・2・3・4後	2								兼1
	現代社会と経済(未開講)	1・2・3・4前・後	2								兼1
	会計入門(未開講)	1・2・3・4後	2								兼1
	現代社会と福祉(未開講)	1・2・3・4後	2								兼1
	社会的教養	数学	1・2・3・4前	2							
統計学		1・2・3・4後	2								兼1
化学		1・2・3・4前	2								兼1
生物学		1・2・3・4前・後	2								兼1
地球科学概論(未開講)		1・2・3・4前	2								兼1
地球物理学概論(未開講)		1・2・3・4後	2								兼1
人類学		1・2・3・4前	2								兼1
物理学(未開講)		1・2・3・4後	2								兼1
生命倫理		1・2・3・4前・後	2								兼2
自然理解		日本史	1・2・3・4後	2							
	日本文化史	1・2・3・4後	2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4前・後	2								兼1
	環境科学(未開講)	1・2・3・4後	2								兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地域生態論	1・2・3・4前	2								兼1
	地球環境学(未開講)	1・2・3・4前	2								兼1
	歴史文化理解	スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1			0	2	1	1	
スポーツ初級B		1・2・3・4後	1			0	2	1	1		兼4
スポーツ中級A		2・3・4前・後	1			1					兼1
スポーツ中級B		2・3・4後	1								兼1
スポーツ上級A		3・4後	1								兼1
スポーツ上級B		3・4後	1								兼1
身体的理解											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
N G U 教養スタンダード科目	社会的教養 地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前	2							兼1
		歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前	2							兼1
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前	2							兼1
		地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後	2							兼1
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後	2							兼1
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後	2							兼1
		上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2							兼3
	言語とコミュニケーション	日本語表現	1前	2							兼2
		日本語表現上級	1前・後	2							兼2
		基礎英語1	1前	1							兼1
		基礎英語2	1後	1							兼1
		英会話1	1前	1							兼1
		英会話2	1後	1							兼1
		実用英語演習1	2・3・4前	1							兼1
		実用英語演習2	2・3・4後	1							兼1
		情報英語演習1	2・3・4前	1							兼1
		情報英語演習2	2・3・4後	1							兼1
	情報理解	手話	1・2・3・4後	1							兼1
		手話上級	1・2・3・4後	1							兼1
教職教養	情報処理基礎	1前	2							兼1	
	教育原理	1後	2							兼1	
	特別活動論	2前	2							兼1	
	道徳教育論	2後	2							兼1	
	生徒・進路指導論	2後	2							兼1	
小計(77科目)		-									
学部共通科目	健康科学概論	1前	2		1	2				兼3	
	スポーツ科学概論	1後	2				1			兼5	
	スポーツ原理	2後	2							兼1	
	スポーツ心理学	1後	2							兼1	
	健康心理学	3後	2							兼1	
	スポーツ社会学	2前	2							兼1	
	スポーツ生理学	2前	2							兼1	
	栄養学概論	2後	2							兼1	
	健康レクリエーション論	2後	2							兼1	
	医学一般(概論)	2後	2							兼1	
	看護学概論	3前	2							兼1	
	国際スポーツ健康事情	1・2・3・4前	2		1					兼1	
	スポーツ実技9(バレーボール)	2後	1							兼1	
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前	1							兼1	
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1							兼1	
	スポーツ実技12(アクアビクス)	2後	1							兼1	
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2前	1		1					兼1	
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1							兼1	
	スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1							兼1	
小計(19科目)		-									
学科基礎科目	子どもスポーツ教育論	1後	2		1	1					
	子ども健康教育論	1前	2		1						
	発育発達とスポーツ	1後	2		1						
	生涯発達心理学	2前	2							兼1	
	地域スポーツ論	2後	2				1				
	初等教育原理	2前	2							兼1	
	保育原理	2前	2		1						
	障害児の保育と教育(未開講)	3前	2							兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
N G U 教養スタンダード科目	社会的教養 地域理解	地域商業まちづくり学(未開講)	1・2・3・4前	2							兼1
		歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前	2							兼1
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前	2							兼1
		地域商業まちづくり演習(未開講)	1・2・3・4後	2							兼1
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後	2							兼1
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後	2							兼1
		上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2							兼2
	言語とコミュニケーション	日本語表現	1前	2							兼2
		日本語表現上級	1前・後	2							兼2
		基礎英語1	1前	1							兼1
		基礎英語2	1後	1							兼1
		英会話1	1前	1							兼1
		英会話2	1後	1							兼1
		実用英語演習1	2・3・4前	1							兼1
		実用英語演習2	2・3・4後	1							兼1
		情報英語演習1	2・3・4前	1							兼1
		情報英語演習2	2・3・4後	1							兼1
	情報理解	手話(未開講)	1・2・3・4後	1							兼1
		手話上級(未開講)	1・2・3・4後	1							兼1
教職教養	情報処理基礎	1前	2							兼1	
	教育原理	1後	2							兼1	
	特別活動論	2前	2							兼1	
	道徳教育論	2後	2							兼1	
	生徒・進路指導論	2後	2							兼1	
小計(77科目)		-									
学部共通科目	健康科学概論	1前	2		1	2				兼3	
	スポーツ科学概論	1後	2				1			兼5	
	スポーツ原理	2後	2							兼1	
	スポーツ心理学	1後	2							兼1	
	健康心理学	3後	2							兼1	
	スポーツ社会学	2前	2							兼1	
	スポーツ生理学	2前	2							兼1	
	栄養学概論	2後	2							兼1	
	健康レクリエーション論	2後	2							兼1	
	医学一般(概論)	2前	2							兼1	
	看護学概論(未開講)	3前	2							兼1	
	国際スポーツ健康事業	1・2・3・4前	2		0					兼1	
	スポーツ実技9(バレーボール)	2後	1							兼1	
	スポーツ実技10(ソフトボール)	2前	1							兼1	
	スポーツ実技11(スキー)	1後	1							兼1	
	スポーツ実技12(アクアビクス)	2後	1							兼1	
	スポーツ実技13(ウォーキング)	2前	1		1					兼1	
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)	2前	1							兼1	
	スポーツ実技15(コンディショニング)	3後	1							兼1	
小計(19科目)		-									
学科基礎科目	子どもスポーツ教育論	1後	2			1	1				
	子ども健康教育論(未開講)	1前	2		1						
	発育発達とスポーツ	1後	2		1						
	生涯発達心理学	2前	2							兼1	
	地域スポーツ論	2後	2					1			
	初等教育原理	2前	2							兼1	
	保育原理	2前	2					0		兼1	
	障害児の保育と教育	3前	2							兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3前	1			1					兼3	
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3前	1				1	1			兼2	
	児童の体づくりと動きづくり	1後	1								兼1	
	こども運動指導論	2前	2			1	1	1				
	こどもの表現運動(未開講)	2前	1								兼1	
	レクリエーション・ニュースポーツ	2前	1								兼1	
	アダプテッドスポーツ	3前	1								兼1	
	小計(15科目)	-										
	子どもスポーツ・健康科目	こどものからだの発育発達	3前	2			1					
こどものこころの発達		3後	2			1						
こどもと健康		2後	2			1						
こどもの生活と健康行動		3後	2			1						
こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)		1後	2			1	1					
こどもの食と栄養		3前	2								兼1	
こどもと地域社会		2後	2					1				
健康フィールドワーク		3前	1			1					兼1	
教育・体力測定評価		3後	2			1						
学校保健・安全論		3前	2			1						
生涯スポーツ論		2後	2			1						
健康レクリエーション実習		3前	2			1						
こども家庭福祉論(未開講)		3前	2								兼1	
障害者福祉論		3前	2								兼1	
発達障害と特別支援教育		3後	2								兼1	
こどもの医学		3前	2								兼1	
救急処置の理論と実習		2前	1								兼1	
学科専門科目		体育科教育法(初等)	2前	2				1				
		体育科教育実践論	4前	2				1				
	国語科教育法	2前	2			1						
	国語科教育実践論	4前	2			1						
	算数科教育法	2前	2				1					
	算数科教育実践論	4前	2				1					
	理科教育法	2後	2			1						
	理科教育実践論	4前	2			1						
	社会科教育法	2後	2					1				
	社会科教育実践論	4前	2					1				
	音楽科教育法	3後	2				1					
	図画工作科教育法	3後	2								兼1	
	家庭科教育法	3前	2								兼1	
	生活科教育法	2前	2								兼1	
	初等体育	3後	2				1					
	児童体育	3後	2				1					
	初等国語(書写を含む)	3後	2			1						
	初等算数	3前	2				1					
	初等算数(演習)	4前	2									
	初等理科	3後	2			1						
	初等社会	3前	2					1				
	初等生活	2後	2								兼1	
	初等音楽	4前	2				1					
	初等音楽(器楽)	4前	2				1					
	初等図画工作	4前	2								兼1	
	初等家庭科	4前	2								兼1	
	教育課程の意義と編成	2前	2								兼1	
	特別活動の理論と方法	2前	2								兼1	
	道徳教育の理論と方法	2後	2								兼1	
	進路指導・生徒指導論	2後	2				1					
	教職原論	1前	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)	3前	1			1					兼3	
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	3前	1				1	1			兼2	
	児童の体づくりと動きづくり	1後	1								兼1	
	こども運動指導論	2前	2			1	1	1				
	こどもの表現運動	2後	1								兼2	
	レクリエーション・ニュースポーツ	2前	1								兼1	
	アダプテッドスポーツ	3前	1								兼1	
	小計(15科目)	-										
	子どもスポーツ・健康科目	こどものからだの発育発達	3前	2			1					
こどものこころの発達		3後	2			1						
こどもと健康		2後	2			1						
こどもの生活と健康行動		3後	2			1						
こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)		1後	2			1	1					
こどもの食と栄養		3前	2								兼1	
こどもと地域社会		2後	2					1				
健康フィールドワーク		3前	1			1						
教育・体力測定評価		3後	2			1						
学校保健・安全論		3前	2			1						
生涯スポーツ論		2後	2			1						
健康レクリエーション実習		3前	2			1						
こども家庭福祉論		3前	2								兼1	
障害者福祉論(未開講)		3前	2								兼1	
発達障害と特別支援教育		3後	2								兼1	
こどもの医学(未開講)		3後	2								兼1	
救急処置の理論と実習		2前	1								兼1	
学科専門科目		体育科教育法(初等)	2前	2				1				
		体育科教育実践論	4前	2				1				
	国語科教育法	2前	2			1						
	国語科教育実践論	4前	2			1						
	算数科教育法	2前	2				1					
	算数科教育実践論	4前	2				1					
	理科教育法	2後	2			1						
	理科教育実践論	4前	2			1						
	社会科教育法	2後	2					1				
	社会科教育実践論	4前	2					1				
	音楽科教育法	3後	2				1					
	図画工作科教育法	3後	2								兼1	
	家庭科教育法	3前	2								兼1	
	生活科教育法	2前	2								兼1	
	初等体育	3後	2				1					
	児童体育	3後	2				1					
	初等国語(書写を含む)	3後	2			1						
	初等算数	3前	2				1					
	初等算数(演習)	4前	2									
	初等理科	3後	2			1						
	初等社会	3前	2					1				
	初等生活	2後	2								兼1	
	初等音楽	4前	2				1					
	初等音楽(器楽)	4前	2				1					
	初等図画工作	4前	2								兼1	
	初等家庭科	4前	2								兼1	
	教育課程の意義と編成	2前	2								兼1	
	特別活動の理論と方法	2前	2								兼1	
	道徳教育の理論と方法	2後	2								兼1	
	進路指導・生徒指導論	2後	2				1					
	教職原論	1前	2								兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初等教育科目	教育心理学1	1前	2			1						
	教育心理学2	1後		2		1						
	教育の制度と経営	2後	2									兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1						
	教育相談の基礎	3後	2			1						
	こどもの外国語活動指導法	3後		2								兼1
	学級経営論	3前		2								兼1
	特別支援教育論	4前		2								兼1
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		3	3	2				
	教育実習1(小学校)	3後		1		3	3	2				
教育実習2(小学校)	4前		3		3	3	2					
学科専門科目	保育内容指導法(言葉)	2後	2			1						兼1
	保育内容演習(言葉)	3後		2								兼1
	保育内容指導法(環境)	2前	2									兼1
	保育内容演習(環境)(未開講)	3前		2								兼1
	保育内容指導法(健康)	2前	2									兼1
	保育内容演習(健康)(未開講)	3前		2								兼1
	保育内容指導法(人間関係)	2後	2									兼1
	保育内容演習(人間関係)	3後		2								兼1
	保育内容指導法(表現・音楽)	2前	2				1					
	保育内容演習(表現・音楽)	3後		2				1				
幼児教育科目	保育内容指導法(表現・造形)	2後	2				1					兼1
	保育内容演習(表現・造形)	3後		2				1				兼1
	保育内容総論	1後	2			1						兼1
	保育課程論	2後	2			1						兼1
	幼児体育	3後		2								兼1
	児童文化	3前		2		1						兼1
	家庭支援論	3後		2								兼1
	総合表現活動	4前		2				2				
	幼稚園実習事前・事後指導	3後		1		1	1	2				
	教育実習1(幼稚園)	3前		1		1	1	2				
教育実習2(幼稚園)	3後		3		1	1	2					
演習科目	教職実践演習(幼・小)	4後		2		4	3	4	0			
	専門演習	2前	2			5	5	4	1			
	研究演習	3通	2			5	5	4	1			
	卒業研究	4通	2			5	5	4	1			
小計(84科目)	-											
合計(195科目)	-											

卒業要件及び履修方法

以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。
 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上
 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上
 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上
 学科専門科目：必修72単位、選択科目から19単位以上
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初等教育科目	教育心理学1	1前	2			1						
	教育心理学2	1後		2		1						
	教育の制度と経営	2後	2									兼1
	教育方法・技術論	2後	2			1						
	教育相談の基礎	3後	2			1						
	こどもの外国語活動指導法	3後		2								兼1
	学級経営論	3前		2								兼1
	特別支援教育論(未開講)	4前		2								兼1
	小学校教育実習事前・事後指導	4後		1		3	3	2				
	教育実習1(小学校)	3後		1		3	3	2				
教育実習2(小学校)	4前		3		3	3	2					
学科専門科目	保育内容指導法(言葉)	2後	2			1						兼1
	保育内容演習(言葉)	3後		2								兼1
	保育内容指導法(環境)	2前	2									兼1
	保育内容演習(環境)	3前		2								兼1
	保育内容指導法(健康)	2前	2									兼1
	保育内容演習(健康)(未開講)	3前		2								兼1
	保育内容指導法(人間関係)	2後	2									兼1
	保育内容演習(人間関係)	3後		2								兼1
	保育内容指導法(表現・音楽)	2前	2						1			
	保育内容演習(表現・音楽)	3後		2					1			
幼児教育科目	保育内容指導法(表現・造形)	2後	2						0			兼1
	保育内容演習(表現・造形)	3後		2					0			兼1
	保育内容総論	1後	2			0						兼1
	保育課程論	2後	2			0						兼1
	幼児体育	3後		2								兼1
	児童文化(未開講)	3前		2		1						兼1
	家庭支援論	3後		2								兼1
	総合表現活動(未開講)	4前		2				2				
	幼稚園実習事前・事後指導	3後		1		0	1					
	教育実習1(幼稚園)	3前		1		0	1					
教育実習2(幼稚園)	3後		3		0	1						
演習科目	教職実践演習(幼・小)	4後		2		3	3	3	0			
	専門演習	2前	2			1	2	0	0			
	研究演習	3通	2			3	4	3	1			
	卒業研究	4通	2			5	5	4	1			
小計(84科目)	-											
合計(195科目)	-											

卒業要件及び履修方法

以下の単位を修得し、合計136単位以上修得すること。
 NGU教養スタンダード科目：必修16単位、選択科目から6単位以上
 学部共通科目：必修4単位、選択科目から6単位以上
 学科基礎科目：必修10単位以上、選択科目から3単位以上
 学科専門科目：必修72単位、選択科目から19単位以上
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「ボランティア演習」開講時期を集中に変更
- ・「インターンシップ」教育効果を考慮し、冢本教授（兼任）、田中講師（兼任）を担当者として追加
- ・「日本国憲法」教学上の理由により、飯島教授（兼任）が外れるが、河本講師（兼任）が担当するため教育上支障はない
- ・「生命倫理」教育効果を考慮し、文准教授（兼任）を担当者として追加
- ・「日本史」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「環境科学」本年度開講集中科目に変更
- ・「スポーツ初級A」坂井准教授（専任）、沖村助教（専任）が予定通り科目を担当。野村教授（専任）、坪田講師（兼任）が担当を外れるが、他の教員（7人）が担当するため教育上支障はない
- ・「スポーツ初級B」中野准教授（専任）、四方田講師（専任）が予定通り科目を担当。野村教授（専任）、坪田講師（兼任）が担当を外れるが、他の教員（8人）が担当するため教育上支障はない
- ・「スポーツ中級A」教育効果を考慮し、伊藤講師（兼任）を担当者として追加
- ・「スポーツ中級B」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「上級まちづくり演習」教学上の理由により、井澤教授（兼任）、水野教授（兼任）が担当を外れるが、田中講師（兼任）、古橋講師（兼任）が担当するため教育上支障はない
- ・「日本語表現」教育効果を考慮し、瀧野講師（兼任）を担当者として追加
- ・「手話」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「手話上級」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「生涯発達心理学」配当年次の記載ミスであり、正しくは2年次前期
- ・「保育原理」教育効果を考慮し、開講時期を変更
- ・「こどもの表現運動」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「レクリエーション・ニュースポーツ」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「保育内容指導法(言葉)」教育効果を考慮し、開講時期を変更
- ・「保育内容指導法(表現・音楽)」教育効果を考慮し、開講時期を変更
- ・「保育課程論」教育効果を考慮し、開講時期を変更

【平成29年度】

- ・「ボランティア演習」教育効果を考慮し、文准教授（兼任）を担当者として追加
- ・「スポーツ初級A」教育効果を考慮し、鬼頭講師（兼任）を担当者として追加
- ・「スポーツ中級A」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「スポーツ上級A」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「スポーツ上級B」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「上級まちづくり演習」教育効果を考慮し、越智講師（兼任）を担当者として追加
- ・「医学一般（概論）」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「スポーツ実技13（ウォーキング）」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「運動指導法Ⅰ（器械運動、ボール運動）」教学上の理由により開講時期を変更。教育効果を考慮し、兼任教員を変更及び追加
- ・「運動指導法Ⅱ（陸上運動、水泳）」教育効果を考慮し、兼任教員を変更及び追加
- ・「健康フィールドワーク」教育効果を考慮し、小林准教授（兼任）を担当者として追加、集中科目
- ・「発達障害と特別支援教育」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「こどもの医学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「こどもの外国語活動指導法」教学上の理由により、開講時期を集中に変更
- ・「学級経営論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「保育内容演習(言葉)」教学上の理由により、開講時期を変更

【平成30年度】

- ・「基礎セミナー」入学者数に応じて、専任教員4人で担当
- ・「基礎セミナーⅡ」入学者数に応じて、専任教員4人で担当
- ・「キャリアデザイン3b」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「ボランティア演習」兼任教員2人が担当を外れるが、他の兼任教員（2名）が担当するため教育上支障はない
- ・「キリスト教人間学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「生命倫理」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「陶芸論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「陶芸演習」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「スポーツ初級A」兼任教員1人が担当を外れるが、専任・兼任教員（7名）が担当するため教育上支障はない
- ・「スポーツ中級A」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「国際スポーツ健康事情」野村教授（専任）が担当を外れ、他の兼任教員（1名）が担当
- ・「保育原理」田中教授（専任）の退職により、担当者を吉田龍宏講師（兼任）に変更
- ・「こどもの表現運動」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「こどもの表現運動」教育効果を考慮し、兼任教員を1人から2人に増加
- ・「健康フィールドワーク」小林准教授（兼任）が海外研修のため担当を外れるが、中野准教授（専任）が担当するため教育上支障はない
- ・「保育内容指導法(表現・造形)」梶浦恭子講師（専任）の退職により、担当者を古川洋子講師（兼任）に変更
- ・「保育内容演習(表現・造形)」梶浦恭子講師（専任）の退職により、担当者を古川洋子講師（兼任）に変更
- ・「保育内容総論」田中まさ子教授（専任）の退職により、担当者を吉田龍宏講師（兼任）に変更
- ・「保育課程論」田中まさ子教授（専任）の退職により、担当者を吉田龍宏講師（兼任）に変更
- ・「幼稚園事前実習・事後指導」田中教授（専任）及び梶浦恭子講師（専任）が退職に伴い担当を外れるが、岸本講師（専任）が担当するため教育上支障はない
- ・「教育実習1(幼稚園)」田中まさ子教授（専任）及び梶浦恭子講師（専任）が退職に伴い担当を外れるが、岸本講師（専任）が担当するため教育上支障はない
- ・「教育実習2(幼稚園)」田中まさ子教授（専任）及び梶浦恭子講師（専任）が退職に伴い担当を外れるが、岸本講師（専任）が担当するため教育上支障はない
- ・「教職実践演習(幼・小)」田中まさ子教授（専任）及び梶浦恭子講師（専任）が退職に伴い担当を外れるが、他の教員（9名）が担当するため教育上支障はない
- ・「専門演習」教学上の理由により、今年度は専任教員3名で担当
- ・「研究演習」教学上の理由により、今年度は専任教員11名で担当

【令和元年度】

- ・カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築し、以下の科目追加・変更
 - 【キリスト教】「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」、「聖書学」、「キリスト教倫理」、「キリスト教史」
 - 【自己理解と自己開発】「発展セミナー」、「インターンシップ1」、「インターンシップ2」
 - 【歴史・文化の理解】(科目区分の新設)「【教養】日本史」、「【教養】世界史」、「【教養】日本文学」、「【教養】外国文化論」、「【教養】文化人類学」、「【教養】陶芸論」、「【教養】陶芸演習」
 - 【社会の理解】(科目区分の新設)「【教養】政治学」、「【教養】国際政治学」、「【教養】国際関係論」、「【教養】平和学」、「【教養】法学」、「【教養】日本国憲法」、「【教養】経済学」、「【教養】経営学」、「【教養】統計学」、「【教養】社会学」、「【教養】教育学」
 - 【自然・人間・生命の理解】(科目区分の新設)「【教養】哲学」、「【教養】心理学」、「【教養】数学」、「【教養】物理学」、「【教養】化学」、「【教養】地学」、「【教養】生物学」、「【教養】環境学」、「【教養】情報処理論」、「【教養】スポーツ初級a」、「【教養】スポーツ初級b」
 - 【地域の理解】(科目区分の新設)「まちづくり学」、「まちづくり演習」、「上級まちづくり演習」
- ・カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築し、「実用英語演習1」から「実用英語1」へ、「実用英語演習2」から「実用英語2」へ、「情報英語演習1」から「情報英語1」へ、「情報英語演習2」から「情報英語2」へ科目名称を変更
- ・カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築し、「情報理解」から「情報」へ、「教職教養」から「教職」へ科目区分名称を変更
 - ・「基礎セミナー」入学者数に応じて、専任教員6人で担当
 - ・「ボランティア演習」兼任教員1人が担当を外れるが、他の兼任教員(1名)が担当するため教育上支障はない
 - ・「日本語表現」教学上の理由により、開講時期を変更、教育効果を考慮し兼任教員(2名)が担当を外れ、滝波教授(専任)を担当者として追加
 - ・「日本語表現上級」教学上の理由により開講期変更、兼任教員1人が担当を外れるが、他の兼任教員(1名)が担当するため教育上支障はない
 - ・「基礎英語1」、「基礎英語2」入学者数に応じて、専任教員3人で担当
 - ・「英会話1」、「英会話2」入学者数等に応じて、専任教員4人で担当
 - ・「健康科学概論」定年退職により野村教授(専任)が担当を外れるが、他の専任教員(1名)、兼任教員(4名)が担当するため教育上支障はない
 - ・「スポーツ科学概論」沖村助教(専任)が講師に昇任、兼任教員(1名)が担当を外れるが、専任教員(1名)、他の兼任教員(4名)が担当するため教育上支障はない
 - ・「スポーツ原理」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・カリキュラム改定により「スポーツ倫理学」を追加
 - ・「看護学概論」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・「スポーツ実技9(バレーボール)」、「スポーツ実技10(ソフトボール)」(学部共通科目)カリキュラム改定により学科基礎科目へ移動
 - ・「スポーツ実技12(アクアビクス)」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・「こどもスポーツ教育論」、中野准教授(専任)が教授に昇任、四方田講師(専任)が准教授に昇任
 - ・「発育発達とスポーツ」中野准教授(専任)が教授に昇任
 - ・「地域スポーツ論」沖村助教(専任)が講師に昇任
 - ・「保育原理」吉田龍講師(兼任)が専任准教授として就任
 - ・「運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動)」中野准教授(専任)が教授に昇任
 - ・「運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)」教学上の理由により、開講時期を変更、四方田講師(専任)が准教授に昇任、沖村助教(専任)が講師に昇任
 - ・「こども運動指導論」中野准教授が教授に昇任、四方田講師(専任)が准教授に昇任、沖村助教が講師に昇任
 - ・カリキュラム改定により「レクリエーション・ニュースポーツ」から「スポーツ実技19(レクリエーション・ニュースポーツ)」へ、「アダプテッドスポーツ」から「スポーツ実技20(アダプテッドスポーツ)」へ、「こどものこころの発達」から「幼児理解の理論と方法」へ科目名称を変更
 - ・「こどものからだの発育発達」中野准教授(専任)が教授に昇任
 - ・カリキュラム改定により教育効果を考慮して「こどもと健康」の配当年次、開講時期を変更
 - ・「こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)」中野准教授(専任)が教授に昇任、四方田講師(専任)が准教授に昇任
 - ・「こどもの食と栄養」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・「健康フィールドワーク」中野准教授(専任)が教授に昇任、教育効果を考慮し兼任教員を1名増加
 - ・「学校保健・安全論」定年退職により野村教授(専任)が担当を外れるが、他の兼任教員(1名)が担当するため教育上支障はない
 - ・「生涯スポーツ論」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・「体育科教育法(初等)」、「体育科教育実践論」、「初等体育」四方田講師(専任)が准教授に昇任
 - ・「算数科教育法」、「算数科教育実践論」、「初等算数」宇野准教授(専任)が教授に昇任
 - ・「社会科教育法」、「社会科教育実践論」菊池講師(専任)が准教授に昇任
 - ・「初等国語(書写を含む)」教学上の理由により、開講時期を変更
 - ・「初等算数(演習)」宇野教授(専任)を担当者として追加
 - ・「初等社会」菊池講師(専任)が准教授に昇任
 - ・カリキュラム改定により「こどもの外国語活動指導法」から「英語科教育法」へ科目名称を変更し、選択科目から必修科目へ変更
 - ・カリキュラム改定により教育効果を考慮して「初等英語」を追加
 - ・カリキュラム改定により教育効果を考慮して「特別支援教育論」の配当年次を変更、選択科目から必修科目へ変更
 - ・カリキュラム改定により「総合的な学習の時間の指導法」を追加
 - ・「小学校教育実習事前・事後指導」教員の昇任により、教授4名、准教授4名で担当
 - ・カリキュラム改定により「教育実習1(小学校)」から「教育実習1(小学校、インターンシップを含む)」へ名称変更、教員の昇任により、教授4名、准教授4名で担当
 - ・「教育実習2(小学校)」教員の昇任により、教授4名、准教授4名で担当
 - ・カリキュラム改定により教育効果を考慮して「保育内容演習(言葉・環境)」、「保育内容演習(健康・人間関係)」を追加
 - ・「保育内容指導法(表現・音楽)」、「保育内容演習(表現・音楽)」岸本講師(専任)が准教授に昇任
 - ・「保育内容指導法(表現・造形)」、「保育内容演習(表現・造形)」古川講師(兼任)が専任講師に就任
 - ・「保育内容総論」吉田龍講師(兼任)が専任准教授に就任
 - ・カリキュラム改定により「保育課程論」から「保育・教育課程論」へ科目名称を変更、吉田龍講師(兼任)が専任准教授に就任
 - ・「幼稚園実習事前・事後指導」、「教育実習1(幼稚園)」、「教育実習2(幼稚園)」岸本講師(専任)が准教授へ昇任、吉田龍准教授(専任)、古川講師(専任)を担当者として追加
 - ・「教職実践演習(幼・小)」教学上の理由により今年度は専任教員9名で担当
 - ・「専門演習」教学上の理由により今年度は専任教員2名で担当
 - ・「研究演習」教学上の理由により今年度は専任教員10名で担当
 - ・「卒業研究」教学上の理由により今年度は専任教員11名で担当

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
54	120	0	174	58	108	0	166	初等中等教育局教職員課免許係の指摘により科目を追加(174科目→195科目)(27) カリキュラム改定の実施により科目数を縮減(195科目→166科目)(元)
	科目	科目	科目	[+4]	[△12]	[0]	[△8]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	キリスト教史	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
2	ボランティア学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
3	【教養】世界史	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
4	【教養】日本文学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
5	【教養】国際政治学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
6	【教養】国際関係論	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
7	【教養】経営学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
8	【教養】教育学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
9	まちづくり演習	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
10	(認可時カリキュラム) 哲学史	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
11	(認可時カリキュラム) 心身関係論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
12	(認可時カリキュラム) 生命倫理	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
13	(認可時カリキュラム) 日本文化史	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
14	(認可時カリキュラム) 生態学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
15	(認可時カリキュラム) 地域生態論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築のため未開講。代替措置なし。
16	(認可時カリキュラム) 地域商業まちづくり学	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
17	(認可時カリキュラム) 地域商業まちづくり演習	2	1	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
18	(認可時カリキュラム) こども健康教育論	2	1	専門	選択	担当者の後任補充を行っていないため、未開講。新カリキュラムでは廃止科目とし、類似科目のこどもと健康(学科専門科目)に集約。
19	(認可時カリキュラム) 生涯発達心理学	2	1	専門	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。新カリキュラムでは廃止科目とする。
20	(認可時カリキュラム) こどもと地域社会	2	2	専門	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。新カリキュラムでは廃止科目とする。
21	(認可時カリキュラム) 児童文化	2	3	専門	選択	担当者の後任補充を行っていないため、未開講。次年度開講に向け調整。新カリキュラムでは廃止科目とする。
22	(認可時カリキュラム) 家庭支援論	2	3	専門	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。新カリキュラムでは廃止科目とする。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	キリスト教概説	2	1	一般	必修	カリキュラム改定により「NGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「キリスト教概説1」を新設。
2	キリスト教学	2	1	一般	必修	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「キリスト教概説2」を新設。
3	基礎セミナーⅡ	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「発展セミナー」を新設。
4	キャリアデザイン3a	2	3	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
5	キャリアデザイン3b	2	3	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
6	インターンシップ	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「インターンシップ1」及び「インターンシップ2」を新設。
7	哲学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】哲学」を新設。
8	哲学史	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】哲学」を新設。
9	心身関係論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
10	心理学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】心理学」を新設。
11	キリスト教人間学	2	2	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
12	死生学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
13	臨床心理学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】心理学」を新設。
14	倫理学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
15	社会学入門	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】社会学」を新設。
16	宗教社会学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】社会学」を新設。
17	日本国憲法	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】日本国憲法」を新設。
18	現代社会と法律	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】法学」を新設。
19	暮らしと法律	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
20	現代社会と経済	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】経済学」を新設。
21	会計入門	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
22	現代社会と福祉	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
23	数学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】数学」を新設。
24	統計学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】統計学」を新設。
25	化学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】化学」を新設。
26	生物学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】生物学」を新設。
27	地球科学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】地学」を新設。
28	地球物理学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】物理学」を新設。
29	人類学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】文化人類学」を新設。
30	物理学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】物理学」を新設。
31	生命倫理	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
32	日本史	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】日本史」を新設。
33	日本文化史	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
34	文化人類学入門	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】文化人類学」を新設。
35	陶芸論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】陶芸論」を新設。
36	陶芸演習	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】陶芸演習」を新設。
37	環境科学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】環境学」を新設。
38	生態学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】生物学」を新設。
39	地域生態論	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
40	地球環境学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】環境学」を新設。
41	スポーツ初級A	1	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】スポーツ初級a」を新設。
42	スポーツ初級B	1	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「【教養】スポーツ初級b」を新設。
43	スポーツ中級A	1	2	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
44	スポーツ中級B	1	2	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
45	スポーツ上級A	1	3	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
46	スポーツ上級B	1	3	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
47	地域商業まちづくり学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり学」を新設。
48	歴史観光まちづくり学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり学」を新設。
49	減災福祉まちづくり学	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり学」を新設。
50	地域商業まちづくり演習	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり演習」を新設。
51	歴史観光まちづくり演習	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり演習」を新設。
52	減災福祉まちづくり演習	2	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替科目として「まちづくり演習」を新設。
53	手話	1	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
54	手話上級	1	1	一般	選択	カリキュラム改定によりNGU教養スタンダード科目群を再構築。代替措置なし。
55	こども健康教育論	2	1	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「こどもと健康」(学科専門科目)に集約。
56	生涯発達心理学	2	1	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
57	障害児の保育と教育	2	3	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
58	こどもの表現運動	1	2	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
59	こどもの生活と健康行動	2	3	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「こどもと健康」(学科専門科目)に集約。
60	こどもと地域社会	2	2	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
61	教育・体力測定評価	2	3	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
62	こども家庭福祉論	2	3	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の家庭支援論(学科専門科目)に集約。
63	発達障害と特別支援教育	2	3	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「特別支援教育論」(学科専門科目)に集約。
64	救急処置の理論と実習	1	2	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「こどもの医学」(学科専門科目)に集約。
65	児童体育	2	3	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「初等体育」(学科専門科目)に集約。
66	初等音楽(器楽)	2	4	専門	選択	カリキュラム改定により、類似科目の「初等音楽」(学科専門科目)に集約。
67	保育内容演習(言葉)	2	3	専門	選択	カリキュラム改定による科目の見直し。代替科目として「保育内容演習(言葉・環境)」を新設。
68	保育内容演習(環境)	2	3	専門	選択	カリキュラム改定による科目の見直し。代替科目として「保育内容演習(言葉・環境)」を新設。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
69	保育内容演習(健康)	2	3	専門	選択	カリキュラム改定による科目の見直し。代替科目として「保育内容演習(健康・人間関係)」を新設。
70	保育内容演習(人間関係)	2	3	専門	選択	カリキュラム改定による科目の見直し。代替科目として「保育内容演習(健康・人間関係)」を新設。
71	児童文化	2	3	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
72	家庭支援論	2	3	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。
73	総合表現運動	2	4	専門	選択	カリキュラム改定を実施し、選択科目の縮約のため、科目を廃止。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、次年度開講に向けて調整を進めている。
 廃止科目73科目の内訳は、教養科目(NGU教養スタンダード科目)54科目、専門科目19科目である。
 教養科目における廃止科目:カリキュラム改定による「NGU教養スタンダード科目」(教養科目)群の再構築に伴う科目の廃止。廃止科目54科目のうち36科目に代替措置を実施。
 専門科目における廃止科目:カリキュラム改定による類似科目への統合及び科目の縮約に伴う科目の廃止。
 学生に対しては、未開講科目については履修登録システムにおいて周知し、廃止科目については履修要項及び履修登録システムにおいて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{74}{174} = \boxed{42.52\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 舎 敷 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他面積の転記ミスのため。(27) 校舎敷地を取得した。(28) 新校舎竣工により、新校舎敷地の駐車場面積を「その他」に修正した。(元)				
	校 舎 敷 地	234,785.84 234,924.84 225,418.99 144,021.00 m ²	0 m ²	0 m ²	234,785.84 234,924.84 225,418.99 144,021.00 m ²					
	運 動 場 用 地	83,493.78 81,632.00 m ²	0 m ²	0 m ²	83,493.78 81,632.00 m ²					
	小 計	318,418.62 308,912.77 225,653.00 m ²	0 m ²	0 m ²	318,418.62 308,912.77 225,653.00 m ²					
	そ の 他	64,584.76 64,445.76 181,773.53 m ²	0 m ²	0 m ²	64,584.76 64,445.76 181,773.53 m ²					
	合 計	382,864.38 373,358.53 407,426.53 m ²	0 m ²	0 m ²	382,864.38 373,358.53 407,426.53 m ²					
(2) 校 舎	専 用	83,089.18m ² 80,331.90m ² 74,094.01m ² 74,102.73m ²	0m ²	0m ²	83,089.18m ² 80,331.90m ² 74,094.01m ² 74,102.73m ²	平成27年1月竣工した名古屋キャンパス新校舎の面積を、建築面積から登記上の面積に修正した。(27) 平成30年9月竣工予定の新校舎を予定数値に加えた(29) 平成30年9月竣工の新校舎の面積を建築面積から登記面積に修正し、平成31年3月竣工の新校舎の登記面積を加えた。(元)				
		(74,094.01m ²) (74,102.73m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(74,094.01m ²) (74,102.73m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	95室	演 習 室	82室	実験実習室	27室	情報処理学習施設	6室	語学学習施設	8室
						(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教授1名と専任講師1名が退職のため(30)				
	スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科		14 13 15 室			専任准教授1名と専任講師1名が就任、専任教授1名が退職のため(元)				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	平成27年度報告漏れのため、2年分の変更を記載(28)		
	スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科	105,953[23,707] (111,549[24,145]) (109,426[23,928]) (107,257[23,762]) (105,277[23,689]) (103,577[23,614]) (100,433[23,443])	1,229[422] (1,229[422])	409 [284] (409 [284])	1,903 (2,063) (1,979) (1,889) (1,765) (1,730) (1,631)	2,875 (2,875)	0 (0)			
	計	105,953[23,707] (111,549[24,145]) (109,426[23,928]) (107,257[23,762]) (105,277[23,689]) (103,577[23,614]) (100,433[23,443])	1,229[422] (1,229[422])	409 [284] (409 [284])	1,903 (2,063) (1,979) (1,889) (1,765) (1,730) (1,631)	2,875 (2,875)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		平成27年度報告漏れのため、2年分の変更を記載。平成27年度、平成28年度ともに瀬戸図書館の席数増加(28) 平成28年度瀬戸図書館の席数増加(29) 令和元年図書館分室増設(元)			
	6,681.39 m ² 5,907.13 m ²		972 869 857 778		570,000 550,000					

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,711.52 m ²		野球場1面、屋内 [○] ール1面、テニスコート17面、ゴルフ練習場1面他						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は大学全体で 配分 完成年度における個人研 究費の変更(30) 共同研究費等の変更 (30)
		教員1人当り研究費等	680千円	600千円 680千円	図書購入費	24,055千円	3,000千円	3,000千円	
	共 同 研 究 費 等	2,320千円	10,000千円 2,320千円	設備購入費	23,887千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,370千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金収入、手数料収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋学院大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
経済学部						1.13				
経済学科	4	250	-	1,000	学士 (経済学)	1.13		昭和39	愛知県名古屋市熱 田区熱田西町1番25 号	
総合政策学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成12	同上	平成27年より学生 募集停止
現代社会学部						1.07				
現代社会学科	4	150	-	600	学士 (現代社会)	1.07		平成27	同上	
商学部						1.11				
商学科	4	200	-	800	学士 (商学)	1.09		平成4	同上	
経営情報学科	4	95	-	390	学士 (商学)	1.15	平成30	平成15	同上	定員変更(△5)
法学部						1.15				
法学科	4	165	-	630	学士 (法学)	1.15	平成30	平成25	同上	定員変更(15)
外国語学部						1.11				
英米語学科	4	140	-	560	学士 (文学)	1.11		平成元	同上	
中国コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-		平成元	同上	平成27年より学生 募集停止
国際文化協力量科	4	-	-	-	学士 (文学)	-		平成17	同上	平成27年より学生 募集停止
国際文化学部						1.06				
国際文化学科	4	100	-	400	学士 (国際文化)	1.16		平成27	同上	
国際協力量科	4	50	-	200	学士 (国際文化)	0.85		平成27	同上	
スポーツ健康学部						1.05				
スポーツ健康学科	4	120	-	480	学士 (スポーツ健 康)	1.18		平成22	愛知県瀬戸市上品 野町1350番地	
こどもスポーツ教育学科	4	50	-	200	学士 (こどもス ポーツ教育)	0.76		平成27	同上	
リハビリテーション学部						1.08				
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08		平成22	愛知県名古屋市熱 田区大宝三丁目1番 17号	平成31年より所 在地移転
大学全体	4	1,400	-	5,600	-	1.10	-	-	-	-

大学の名称	名古屋学院大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
経済経営研究科										
経済学専攻 修士課程	2	7	-	14	修士 (経済学)	0.85		平成9	愛知県名古屋市熱 田区大宝三丁目1番 17号	
経営政策専攻 博士前期課程	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.72		平成9	同上	
経営政策専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (経営学)	0.33		平成11	同上	
外国語学研究科										
英語学専攻 修士課程	2	7	-	14	修士 (英語学)	0.21		平成9	同上	
国際文化協力専攻 修士課程	2	5	-	10	修士 (国際文化協 力)	0.80		平成21	同上	
英語学専攻 博士前期課程 (通信教育課程)	2	20	-	40	修士 (英語学)	1.17		平成13	同上	
英語学専攻 博士後期課程 (通信教育課程)	3	3	-	9	博士 (英語学)	0.55		平成20	同上	
大学全体	-	67	-	142	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成27年度】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	<就任(予定)年月>保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専任	教授(学部長)	野村 良和 (66)	<平成27年4月> 体育学修士	専任	教授(学部長)	野村 良和 (67)	<平成27年4月> 体育学修士	専任	教授(学部長)	野村 良和 (68)	<平成27年4月> 体育学修士
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A 健康科学概論 ※ 国際スポーツ健康事情 こども健康教育論 こどもと健康 学校保健・安全論 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A 健康科学概論 ※ 国際スポーツ健康事情 こども健康教育論 こどもと健康 学校保健・安全論 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ スポーツ中級A 健康科学概論 ※ 国際スポーツ健康事情 こども健康教育論 こどもと健康 学校保健・安全論 専門演習 研究演習 卒業研究	
専任	教授	谷口 篤 (59)	<平成27年4月> 博士(心理学)	専任	教授	谷口 篤 (60)	<平成27年4月> 博士(心理学)	専任	教授	谷口 篤 (61)	<平成27年4月> 博士(心理学)
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究	
専任	教授	田中 まさ子 (64)	<平成27年4月> 博士(教育学)	専任	教授	田中 まさ子 (65)	<平成27年4月> 博士(教育学)	専任	教授	田中 まさ子 (66)	<平成27年4月> 博士(教育学)
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 保育原理 保育内容総論 保育課程論 幼稚園実習事前・事後指導 教育実習1(幼稚園) 教育実習2(幼稚園) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 保育原理 保育内容総論 保育課程論 児童文化 幼稚園実習事前・事後指導 教育実習1(幼稚園) 教育実習2(幼稚園) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 保育原理 保育内容総論 保育課程論 幼稚園実習事前・事後指導 教育実習1(幼稚園) 教育実習2(幼稚園) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究	
専任	教授	滝浪 常雄 (55)	<平成27年4月> 教育学修士	専任	教授	滝浪 常雄 (56)	<平成27年4月> 教育学修士	専任	教授	滝浪 常雄 (57)	<平成27年4月> 教育学修士
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 国語科教育法 初等国語(書写を含む) 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 保育内容指導法(言葉) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 国語科教育法 国語科教育実践論 初等国語(書写を含む) 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 保育内容指導法(言葉) ※ 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 国語科教育法 国語科教育実践論 初等国語(書写を含む) 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 保育内容指導法(言葉) ※ 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究	
専任	教授	吉田 淳 (63)	<平成27年4月> 教育学修士	専任	教授	吉田 淳 (64)	<平成27年4月> 教育学修士	専任	教授	吉田 淳 (65)	<平成27年4月> 教育学修士
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 理科教育法 初等理科 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 理科教育法 理科教育実践論 初等理科 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ 理科教育法 理科教育実践論 初等理科 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究	
専任	教授	谷口 篤 (62)	<平成27年4月> 博士(心理学)	専任	教授	谷口 篤 (63)	<平成27年4月> 博士(心理学)	専任	教授	谷口 篤 (64)	<平成27年4月> 博士(心理学)
		基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究				基礎セミナー 基礎セミナーⅡ こどものこころの発達 教育心理学1 教育心理学2 教育方法・技術論 教育相談の基礎 小学校教育実習事前・事後指導 教育実習1(小学校) 教育実習2(小学校) 教職実践演習(幼・小) 専門演習 研究演習 卒業研究	

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	高見 伊三男 (62) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (52) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※ 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	教授	増田 喜治 (63) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※ 基礎英語1 基礎英語2
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	実用英語演習1 実用英語演習2
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (63) <平成27年4月> 文学修士	哲学 哲学史 心身関係論
兼任	教授	伊沢 俊泰 (55) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済
兼任	教授	小川 文雄 (62) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	小林 甲一 (56) <平成27年4月> 博士(経済学)	現代社会と福祉
兼任	教授	宝島 格 (48) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 統計学
兼任	教授	今村 薫 (54) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学
兼任	教授	木村 光伸 (65) <平成27年4月> 農学士	生命倫理 生態学 地域生態論
兼任	教授	曾我 良成 (59) <平成27年4月> 文学修士	日本史 日本文化史
兼任	教授	井澤 知且 (62) <平成27年4月> 博士(工学)	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	教授	早川 厚一 (66) <平成27年4月> 文学修士	日本語表現 日本語表現上級
兼任	教授	程 騰 (52) <平成27年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	高見 伊三男 (62) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (52) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※ 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	教授	増田 喜治 (63) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※ 基礎英語1 基礎英語2
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	実用英語演習1 実用英語演習2
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (63) <平成27年4月> 文学修士	哲学 哲学史 心身関係論
兼任	教授	伊沢 俊泰 (55) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済
兼任	教授	小川 文雄 (62) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	小林 甲一 (56) <平成27年4月> 博士(経済学)	現代社会と福祉
兼任	教授	宝島 格 (48) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 統計学
兼任	教授	今村 薫 (54) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学 文化人類学入門
兼任	教授	木村 光伸 (65) <平成27年4月> 農学士	生命倫理 生態学 地域生態論
兼任	教授	曾我 良成 (59) <平成27年4月> 文学修士	日本史 日本文化史
兼任	教授	井澤 知且 (62) <平成27年4月> 博士(工学)	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	教授	早川 厚一 (66) <平成27年4月> 文学修士	日本語表現 日本語表現上級
兼任	教授	程 騰 (52) <平成27年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	高見 伊三男 (63) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (53) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※
兼任	教授	増田 喜治 (64) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	実用英語演習1 実用英語演習2 情報英語演習1 情報英語演習2
兼任	教授	松永 公廣 (67) <平成27年4月> 博士(人間科学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (64) <平成27年4月> 文学修士	哲学 哲学史 心身関係論
兼任	教授	伊沢 俊泰 (56) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済
兼任	教授	小川 文雄 (63) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	小林 甲一 (57) <平成27年4月> 博士(経済学)	現代社会と福祉
兼任	教授	宝島 格 (49) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 統計学
兼任	教授	今村 薫 (55) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学
兼任	教授	木村 光伸 (66) <平成27年4月> 農学士	生命倫理 生態学 地域生態論
兼任	教授	曾我 良成 (60) <平成27年4月> 文学修士	日本史 日本文化史
兼任	教授	早川 厚一 (67) <平成27年4月> 文学修士	日本語表現 日本語表現上級
兼任	教授	程 騰 (53) <平成27年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	高見 伊三男 (64) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (54) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※
兼任	教授	増田 喜治 (65) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※
兼任	教授	高木 直人 (51) <平成29年4月> 修士(経営学)	実用英語演習1 実用英語演習2 情報英語演習1 情報英語演習2
兼任	教授	高木 直人 (51) <平成29年4月> 修士(経営学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (65) <平成27年4月> 文学修士	哲学 哲学史 心身関係論
兼任	教授	伊沢 俊泰 (57) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済
兼任	教授	小川 文雄 (64) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	宝島 格 (50) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 統計学
兼任	教授	今村 薫 (56) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学
兼任	教授	木村 光伸 (67) <平成27年4月> 農学士	生命倫理 生態学 地域生態論
兼任	教授	曾我 良成 (61) <平成27年4月> 文学修士	日本史 日本文化史
兼任	教授	早川 厚一 (68) <平成27年4月> 文学修士	日本語表現 日本語表現上級
兼任	教授	程 騰 (54) <平成27年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	高見 伊三男 (65) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (55) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※
兼任	教授	増田 喜治 (66) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※
兼任	教授	高木 直人 (52) <平成29年4月> 修士(経営学)	実用英語演習1 実用英語演習2 情報英語演習1 情報英語演習2
兼任	教授	高木 直人 (52) <平成29年4月> 修士(経営学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (66) <平成27年4月> 文学修士	哲学 哲学史 心身関係論
兼任	教授	伊沢 俊泰 (58) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済
兼任	教授	小川 文雄 (65) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	宝島 格 (51) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 統計学
兼任	教授	今村 薫 (57) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学
兼任	教授	木村 光伸 (68) <平成27年4月> 農学士	生命倫理 生態学 地域生態論
兼任	教授	曾我 良成 (62) <平成27年4月> 文学修士	日本史 日本文化史
兼任	教授	早川 厚一 (69) <平成27年4月> 文学修士	日本語表現 日本語表現上級
兼任	教授	程 騰 (55) <平成27年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	吉川 洋子 (48) <平成31年4月> 修士(教育学)	基礎セミナー 発展セミナー 保育内容指導法(表現・造形) 保育内容演習(表現・造形) 幼稚園実習事前・事後指導 教育実習1(幼稚園) 教育実習2(幼稚園)
兼任	教授	高見 伊三男 (66) <平成27年4月> 博士(宗教文化)	キリスト教概説 キリスト教 キリスト教人間学
兼任	教授	水野 昌夫 (56) <平成27年4月> 経済学修士	ボランティア学※
兼任	教授	増田 喜治 (67) <平成27年4月> 文学修士	ボランティア学※
兼任	教授	高木 直人 (53) <平成29年4月> 修士(経営学)	実用英語演習1 実用英語演習2 情報英語演習1 情報英語演習2
兼任	教授	高木 直人 (53) <平成29年4月> 修士(経営学)	インターンシップ
兼任	教授	持田 辰郎 (67) <平成27年4月> 文学修士	哲学 【教養】哲学
兼任	教授	伊沢 俊泰 (59) <平成27年4月> 経済学修士	現代社会と経済 【教養】経済学
兼任	教授	小川 文雄 (66) <平成27年4月> 商学修士	会計入門
兼任	教授	宝島 格 (52) <平成27年4月> 博士(数理科学)	数学 【教養】数学 統計学 【教養】統計学
兼任	教授	今村 薫 (58) <平成27年4月> 博士(理学)	人類学 【教養】文化人類学

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任(予定)年月	保有学位等	担当授業科目名
兼任 教授	山本 親	山本 親 (62)	<平成27年4月>	博士(医学)	担当授業科目名
兼任 教授	健康科学概論 ※	山本 親 (62)	<平成27年4月>	博士(医学)	健康科学概論 ※
兼任 教授	スポーツ生理学	山本 親 (62)	<平成27年4月>	博士(医学)	スポーツ生理学
兼任 教授	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動) ※	山本 親 (62)	<平成27年4月>	博士(医学)	運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動) ※
兼任 教授	酒井 淳一	酒井 淳一 (60)	<平成27年4月>	医学博士	酒井 淳一 (60)
兼任 教授	健康科学概論 ※	酒井 淳一 (60)	<平成27年4月>	医学博士	健康科学概論 ※
兼任 教授	吉田 正	吉田 正 (66)	<平成27年4月>	体育学修士	吉田 正 (66)
兼任 教授	スポーツ科学概論 ※	吉田 正 (66)	<平成27年4月>	体育学修士	スポーツ科学概論 ※
兼任 教授	スポーツ原理	吉田 正 (66)	<平成27年4月>	体育学修士	スポーツ原理
兼任 教授	齋藤 健治	齋藤 健治 (50)	<平成27年4月>	博士(体育科学)	齋藤 健治 (50)
兼任 教授	スポーツ科学概論 ※	齋藤 健治 (50)	<平成27年4月>	博士(体育科学)	スポーツ科学概論 ※
兼任 教授	スポーツ実技10(フットボール)	齋藤 健治 (50)	<平成27年4月>	博士(体育科学)	スポーツ実技10(フットボール)
兼任 教授	スポーツ科学概論 ※	齋藤 健治 (50)	<平成27年4月>	博士(体育科学)	スポーツ科学概論 ※
兼任 教授	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳) ※	齋藤 健治 (50)	<平成27年4月>	博士(体育科学)	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳) ※
兼任 教授	矢澤 雅	矢澤 雅 (64)	<平成28年4月>	教育学修士	矢澤 雅 (64)
兼任 教授	教育課程の意義と編成	矢澤 雅 (64)	<平成28年4月>	教育学修士	教育課程の意義と編成
兼任 教授	教育の制度と経営	矢澤 雅 (64)	<平成28年4月>	教育学修士	教育の制度と経営
兼任 准教授	大宮 有博	大宮 有博 (45)	<平成27年4月>	Ph.D.(神学)	大宮 有博 (45)
兼任 准教授	ボランティア学 ※	大宮 有博 (45)	<平成27年4月>	Ph.D.(神学)	ボランティア学 ※
兼任 准教授	ボランティア演習	大宮 有博 (45)	<平成27年4月>	Ph.D.(神学)	ボランティア演習
兼任 准教授	道德教育論	大宮 有博 (45)	<平成27年4月>	Ph.D.(神学)	道德教育論
兼任 准教授	金 愛慶	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	金 愛慶 (46)
兼任 准教授	心理学概論	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	心理学概論
兼任 准教授	臨床心理学	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	臨床心理学
兼任 准教授	健康科学概論 ※	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	健康科学概論 ※
兼任 准教授	健康心理学	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	健康心理学
兼任 准教授	生涯発達心理学	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	生涯発達心理学
兼任 准教授	発達障害と特別支援教育	金 愛慶 (46)	<平成27年4月>	修士(心理学)	発達障害と特別支援教育
兼任 准教授	飯島 滋明	飯島 滋明 (45)	<平成27年4月>	修士(法学)	飯島 滋明 (45)
兼任 准教授	日本国憲法	飯島 滋明 (45)	<平成27年4月>	修士(法学)	日本国憲法
兼任 准教授	現代社会と法律	飯島 滋明 (45)	<平成27年4月>	修士(法学)	現代社会と法律
兼任 准教授	暮らしと法律	飯島 滋明 (45)	<平成27年4月>	修士(法学)	暮らしと法律
兼任 准教授	松本 浩司	松本 浩司 (35)	<平成27年4月>	博士(教育学)	松本 浩司 (35)
兼任 准教授	教育原理	松本 浩司 (35)	<平成27年4月>	博士(教育学)	教育原理
兼任 准教授	特別活動論	松本 浩司 (35)	<平成27年4月>	博士(教育学)	特別活動論
兼任 准教授	早坂 一成	早坂 一成 (43)	<平成27年4月>	修士(体育学)	早坂 一成 (43)
兼任 准教授	スポーツ科学概論 ※	早坂 一成 (43)	<平成27年4月>	修士(体育学)	スポーツ科学概論 ※
兼任 准教授	スポーツ社会学	早坂 一成 (43)	<平成27年4月>	修士(体育学)	スポーツ社会学
兼任 准教授	健康レクリエーション論	早坂 一成 (43)	<平成27年4月>	修士(体育学)	健康レクリエーション論
兼任 准教授	レクリエーション・ニュースポーツ	早坂 一成 (43)	<平成27年4月>	修士(体育学)	レクリエーション・ニュースポーツ
兼任 准教授	松田 克彦	松田 克彦 (50)	<平成27年4月>	体育学士	松田 克彦 (50)
兼任 准教授	スポーツ科学概論 ※	松田 克彦 (50)	<平成27年4月>	体育学士	スポーツ科学概論 ※
兼任 准教授	スポーツ実技15(コンディショニング)	松田 克彦 (50)	<平成27年4月>	体育学士	スポーツ実技15(コンディショニング)
兼任 講師	江利川 良枝	江利川 良枝 (52)	<平成28年4月>	修士(教育フロンティア)	江利川 良枝 (52)
兼任 講師	キャリアデザイン2a	江利川 良枝 (52)	<平成28年4月>	修士(教育フロンティア)	キャリアデザイン2a
兼任 講師	キャリアデザイン2b	江利川 良枝 (52)	<平成28年4月>	修士(教育フロンティア)	キャリアデザイン2b
兼任 講師	安藤 りか	安藤 りか (50)	<平成29年4月>	博士(教育学)	安藤 りか (50)
兼任 講師	キャリアデザイン3a	安藤 りか (50)	<平成29年4月>	博士(教育学)	キャリアデザイン3a
兼任 講師	キャリアデザイン3b	安藤 りか (50)	<平成29年4月>	博士(教育学)	キャリアデザイン3b
兼任 講師	宮坂 清	宮坂 清 (43)	<平成27年4月>	博士(社会学)	宮坂 清 (43)
兼任 講師	社会学入門	宮坂 清 (43)	<平成27年4月>	博士(社会学)	社会学入門
兼任 講師	宗教社会学	宮坂 清 (43)	<平成27年4月>	博士(社会学)	宗教社会学
兼任 講師	文化人類学入門	宮坂 清 (43)	<平成27年4月>	博士(社会学)	文化人類学入門

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
兼任	講師	齊藤 久美子 (36) <平成27年4月> 博士(薬学)	生物学	兼任	講師	齊藤 久美子 (36) <平成27年4月> 博士(薬学)	生物学	兼任	准教授	齊藤 久美子 (38) <平成29年4月> 博士(薬学)	生物学	兼任	准教授	齊藤 久美子 (40) <平成30年4月> 博士(薬学)	生物学 【教養】生物学				
兼任	講師	小林 記之 (38) <平成27年4月> 博士(理学)	地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学	兼任	講師	小林 記之 (38) <平成27年4月> 博士(理学)	地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学	兼任	准教授	小林 記之 (40) <平成27年4月> 博士(理学)	地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学 健康フィールドワーク	兼任	准教授	小林 記之 (42) <平成27年4月> 博士(理学)	地球科学概論 地球物理学概論 物理学 【教養】物理学 【教養】地球学 【教養】環境学 健康フィールドワーク				
兼任	講師	伊藤 幹 (32) <平成28年4月> 博士(学術)	スポーツ中級B スポーツ上級A スポーツ上級B	兼任	講師	伊藤 幹 (32) <平成28年4月> 博士(学術)	スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B スポーツ上級A スポーツ上級B	兼任	講師	伊藤 幹 (33) <平成28年4月> 博士(学術)	スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B スポーツ上級A スポーツ上級B	兼任	准教授	伊藤 幹 (34) <平成30年4月> 博士(学術)	スポーツ初級A 【教養】スポーツ初級a スポーツ初級B 【教養】スポーツ初級b スポーツ中級A スポーツ中級B スポーツ上級A スポーツ上級B				
兼任	講師	廣 美里 (52) <平成27年4月> 修士(教育学)	スポーツ科学概論 ※ スポーツ実技9(ハレーポール)運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動) ※ アダブテッドスポーツ	兼任	准教授	廣 美里 (52) <平成27年4月> 修士(教育学)	スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ科学概論 ※ スポーツ実技9(ハレーポール)運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動) ※ アダブテッドスポーツ	兼任	准教授	廣 美里 (53) <平成27年4月> 修士(教育学)	スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ科学概論 ※ スポーツ実技9(ハレーポール)運動指導法Ⅰ(器械運動、ボール運動) ※ アダブテッドスポーツ	兼任	准教授	廣 美里 (54) <平成27年4月> 修士(教育学)	スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ科学概論 ※ スポーツ実技9(ハレーポール)運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳) ※ アダブテッドスポーツ	兼任	准教授	廣 美里 (55) <平成27年4月> 修士(教育学)	スポーツ初級A 【教養】スポーツ初級b 健康科学概論 ※ スポーツ実技9(ハレーポール)運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳) ※ アダブテッドスポーツ
兼任	講師	田中 智麻 (41) <平成27年4月> 博士(工学)	歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	田中 智麻 (41) <平成27年4月> 博士(工学)	歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターシップ	兼任	講師	田中 智麻 (42) <平成27年4月> 博士(工学)	歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターシップ	兼任	講師	田中 智麻 (44) <平成27年4月> 博士(工学)	歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターシップ	兼任	講師	田中 智麻 (45) <平成27年4月> 博士(工学)	歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターシップ
兼任	講師	玉田 沙織 (34) <平成27年4月> 博士(文学)	日本語表現 日本語表現上級	兼任	講師	演野 寛子 (34) <平成27年4月> 博士(人間・環境学)	日本語表現 日本語表現上級	兼任	講師	演野 寛子 (35) <平成27年4月> 博士(人間・環境学)	日本語表現 日本語表現上級	兼任	講師	演野 寛子 (37) <平成27年4月> 博士(人間・環境学)	日本語表現 日本語表現上級				
兼任	講師	山崎 直美 (46) <平成27年4月> 修士(教育学)	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b	兼任	講師	山崎 直美 (46) <平成27年4月> 修士(教育学)	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b	兼任	講師	山崎 直美 (47) <平成27年4月> 修士(教育学)	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b	兼任	講師	山崎 直美 (48) <平成27年4月> 修士(教育学)	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b				
兼任	講師	中井(大宮) 珠恵 (41) <平成27年4月> 修士(神学)	死生学	兼任	講師	中井(大宮) 珠恵 (41) <平成27年4月> 修士(神学)	死生学	兼任	講師	中井(大宮) 珠恵 (41) <平成27年4月> 修士(神学)	死生学	兼任	講師	中井(大宮) 珠恵 (41) <平成27年4月> 修士(神学)	死生学				
兼任	講師	三谷 竜彦 (41) <平成27年4月> 博士(文学)	倫理学	兼任	講師	三谷 竜彦 (41) <平成27年4月> 博士(文学)	倫理学	兼任	講師	三谷 竜彦 (42) <平成27年4月> 博士(文学)	倫理学	兼任	講師	三谷 竜彦 (44) <平成27年4月> 博士(文学)	倫理学				
兼任	講師	長 昌史 (42) <平成27年4月> 博士(工学)	化学	兼任	講師	長 昌史 (42) <平成27年4月> 博士(工学)	化学	兼任	講師	長 昌史 (43) <平成27年4月> 博士(工学)	化学	兼任	講師	長 昌史 (44) <平成27年4月> 博士(工学)	化学				
兼任	講師	八木 三生 (66) <平成27年4月> 学士(理工学)	陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (66) <平成27年4月> 学士(理工学)	陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (67) <平成27年4月> 学士(理工学)	陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (68) <平成27年4月> 学士(理工学)	陶芸論 陶芸演習				
兼任	講師	稲垣 隆司 (69) <平成27年4月> 環境衛生修士	環境科学	兼任	講師	稲垣 隆司 (69) <平成27年4月> 環境衛生修士	環境科学	兼任	講師	杉山 龍子 (40) <平成28年4月> 博士(環境学)	環境科学	兼任	講師	加藤 裕重 (80) <平成31年4月> 修士	陶芸論 【教養】陶芸論 陶芸演習 【教養】陶芸演習				
兼任	講師	加藤 治子 (45) <平成27年4月> 学士(文学)	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	講師	加藤 治子 (45) <平成27年4月> 学士(文学)	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	講師	加藤 治子 (45) <平成27年4月> 学士(文学)	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	講師	加藤 治子 (45) <平成27年4月> 学士(文学)	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 情報英語演習1 情報英語演習2				
兼任	講師	今村 彩子 (35) <平成27年4月> 学士(教育)	手話 手話上級	兼任	講師	今村 彩子 (35) <平成27年4月> 学士(教育)	手話 手話上級	兼任	講師	武田 太一 (38) <平成28年4月> 修士(人間環境情報)	手話 手話上級	兼任	講師	武田 太一 (39) <平成28年4月> 修士(人間環境情報)	手話 手話上級				
兼任	講師	永田 国豊 (65) <平成28年4月> 教育学士	生徒・進路指導論	兼任	講師	永田 国豊 (65) <平成28年4月> 教育学士	生徒・進路指導論 特別支援教育論	兼任	講師	永田 国豊 (65) <平成28年4月> 教育学士	生徒・進路指導論 特別支援教育論	兼任	講師	永田 国豊 (66) <平成28年4月> 教育学士	生徒・進路指導論 特別支援教育論				

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名												
兼任	講師	山下 寛得 (32) <平成27年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	講師	山下 寛得 (33) <平成27年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	講師	山下 寛得 (34) <平成27年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	講師	山下 寛得 (34) <平成27年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	講師	山下 寛得 (34) <平成27年4月> 修士(臨床福祉学)
兼任	講師	越智 祐子 (42) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	越智 祐子 (43) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	越智 祐子 (44) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	越智 祐子 (44) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	越智 祐子 (44) <平成27年4月> 博士(社会学)
兼任	講師	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習	兼任	講師	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習	兼任	講師	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	講師	園原 幸一朗 (48) <平成27年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	園原 幸一朗 (49) <平成27年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	園原 幸一朗 (50) <平成27年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	園原 幸一朗 (51) <平成27年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	園原 幸一朗 (52) <平成27年4月> 修士(教育学)
兼任	講師	Ryan Barnes (35) <平成27年4月> BS(コンピュータサイエンス) 英会話1 英会話2	兼任	講師	Ryan Barnes (36) <平成27年4月> BS(コンピュータサイエンス) 英会話1 英会話2	兼任	講師	Ryan Barnes (37) <平成27年4月> BS(コンピュータサイエンス) 英会話1 英会話2	兼任	講師	Ryan Barnes (38) <平成27年4月> BS(コンピュータサイエンス) 英会話1 英会話2	兼任	講師	Ryan Barnes (39) <平成27年4月> BS(コンピュータサイエンス) 英会話1 英会話2
兼任	講師	河本 晶子 (45) <平成27年4月> 修士(法学)	兼任	講師	河本 晶子 (46) <平成27年4月> 修士(法学)	兼任	講師	河本 晶子 (47) <平成27年4月> 修士(法学)	兼任	講師	河本 晶子 (48) <平成27年4月> 修士(法学)	兼任	講師	河本 晶子 (49) <平成27年4月> 修士(法学)
兼任	講師	日本国憲法 暮らしと法律	兼任	講師	日本国憲法 暮らしと法律 現代社会と法律									
兼任	講師	坪田 博允 (70) <平成27年4月> 教育学士 スポーツ初級A スポーツ初級B												
兼任	講師	古橋 敬一 (38) <平成27年4月> 博士(経営学) 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	古橋 敬一 (39) <平成27年4月> 博士(経営学) 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	古橋 敬一 (40) <平成27年4月> 博士(経営学) 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	古橋 敬一 (40) <平成27年4月> 博士(経営学) 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習	兼任	講師	古橋 敬一 (40) <平成27年4月> 博士(経営学) 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	講師	伊藤 泰子 (59) <平成27年4月> 修士(英語学) 基礎英語1 基礎英語2	兼任	講師	伊藤 泰子 (60) <平成27年4月> 修士(英語学) 基礎英語1 基礎英語2	兼任	講師	伊藤 泰子 (61) <平成27年4月> 修士(英語学) 基礎英語1 基礎英語2	兼任	講師	伊藤 泰子 (62) <平成27年4月> 修士(英語学) 基礎英語1 基礎英語2	兼任	講師	伊藤 泰子 (63) <平成27年4月> 修士(英語学) 基礎英語1 基礎英語2
兼任	講師	角田 和代 (48) <平成27年4月> 修士(教育学) スポーツ実技11(スキー)	兼任	講師	角田 和代 (49) <平成27年4月> 修士(教育学) スポーツ実技11(スキー)	兼任	講師	角田 和代 (50) <平成27年4月> 修士(教育学) スポーツ実技11(スキー)	兼任	講師	角田 和代 (51) <平成27年4月> 修士(教育学) スポーツ実技11(スキー)	兼任	講師	角田 和代 (52) <平成27年4月> 修士(教育学) スポーツ実技11(スキー)
兼任	講師	山田 義嘉子 (34) <平成27年4月> 学士(体育学) 児童の体づくりと動きづくり	兼任	講師	山田 義嘉子 (35) <平成27年4月> 学士(体育学) 児童の体づくりと動きづくり	兼任	講師	山田 義嘉子 (36) <平成27年4月> 学士(体育学) 児童の体づくりと動きづくり	兼任	講師	山田 義嘉子 (37) <平成27年4月> 学士(体育学) 児童の体づくりと動きづくり	兼任	講師	山田 義嘉子 (38) <平成27年4月> 学士(体育学) 児童の体づくりと動きづくり
兼任	講師	高橋 義由紀 (59) <平成28年4月> 博士(地域研究) こどもの外国語活動指導法	兼任	講師	高橋 義由紀 (60) <平成28年4月> 博士(地域研究) こどもの外国語活動指導法	兼任	講師	高橋 義由紀 (61) <平成28年4月> 博士(地域研究) こどもの外国語活動指導法	兼任	講師	高橋 義由紀 (62) <平成28年4月> 博士(地域研究) こどもの外国語活動指導法	兼任	講師	高橋 義由紀 (63) <平成28年4月> 博士(地域研究) こどもの外国語活動指導法
兼任	講師	三神 廣子 (77) <平成28年4月> 博士(学術) 保育内容指導法(音楽) ※ 保育内容演習(音楽)	兼任	講師	三神 廣子 (77) <平成28年4月> 博士(学術) 保育内容指導法(音楽) ※ 保育内容演習(音楽)	兼任	講師	三神 廣子 (78) <平成28年4月> 博士(学術) 保育内容指導法(音楽) ※ 保育内容演習(音楽)	兼任	講師	三神 廣子 (79) <平成28年4月> 博士(学術) 保育内容指導法(音楽) ※ 保育内容演習(音楽)	兼任	講師	三神 廣子 (80) <平成28年4月> 博士(学術) 保育内容指導法(音楽) ※ 保育内容演習(音楽)
兼任	講師	池田 信男 (69) <平成29年4月> 文学修士 家庭支援論	兼任	講師	池田 信男 (69) <平成29年4月> 文学修士 家庭支援論	兼任	講師	池田 信男 (69) <平成29年4月> 文学修士 家庭支援論	兼任	講師	池田 信男 (70) <平成29年4月> 文学修士 家庭支援論	兼任	講師	池田 信男 (70) <平成29年4月> 文学修士 家庭支援論
兼任	教授	高井 義雄 (68) <平成28年4月> 社会学士 道徳教育論	兼任	教授	高井 義雄 (69) <平成28年4月> 社会学士 道徳教育論	兼任	教授	高井 義雄 (70) <平成28年4月> 社会学士 道徳教育論	兼任	講師	高井 義雄 (70) <平成28年4月> 社会学士 道徳教育論	兼任	講師	高井 義雄 (71) <平成28年4月> 社会学士 道徳教育論
兼任	教授	大塚 文雄 (65) <平成28年4月> 教育学修士 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	大塚 文雄 (66) <平成28年4月> 教育学修士 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	大塚 文雄 (67) <平成28年4月> 教育学修士 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	大塚 文雄 (68) <平成28年4月> 教育学修士 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	大塚 文雄 (68) <平成28年4月> 教育学修士 特別活動論 生徒・進路指導論
兼任	教授	家本 博一 (65) <平成28年4月> 博士(経済学) インターンシップ	兼任	教授	家本 博一 (66) <平成28年4月> 博士(経済学) インターンシップ	兼任	教授	家本 博一 (67) <平成28年4月> 博士(経済学) インターンシップ	兼任	教授	家本 博一 (67) <平成28年4月> 博士(経済学) インターンシップ	兼任	教授	家本 博一 (68) <平成28年4月> 博士(経済学) インターンシップ
兼任	教授	福田 陽一 (66) <平成28年4月> 博士(医学) 医学一般(総論)	兼任	教授	福田 陽一 (67) <平成28年4月> 博士(医学) 医学一般(総論)	兼任	教授	福田 陽一 (68) <平成28年4月> 博士(医学) 医学一般(総論)	兼任	教授	福田 陽一 (68) <平成28年4月> 博士(医学) 医学一般(総論)	兼任	教授	福田 陽一 (68) <平成28年4月> 博士(医学) 医学一般(総論)
兼任	准教授	文 禎顕 (45) <平成28年4月> 博士(神学) 死生学 生命倫理 ボランティア学※	兼任	准教授	文 禎顕 (46) <平成28年4月> 博士(神学) 死生学 生命倫理 ボランティア学※	兼任	准教授	文 禎顕 (47) <平成28年4月> 博士(神学) 死生学 生命倫理 ボランティア学※	兼任	准教授	文 禎顕 (47) <平成28年4月> 博士(神学) 死生学 生命倫理 ボランティア学※	兼任	准教授	文 禎顕 (47) <平成28年4月> 博士(神学) 死生学 生命倫理 ボランティア学※
兼任	講師	矢野 順治 (62) <平成28年4月> 経済学博士 現代社会と経済	兼任	講師	矢野 順治 (63) <平成28年4月> 経済学博士 現代社会と経済									
兼任	講師	野中 寿子 (56) <平成28年4月> 博士(医学) 保育内容指導法(健康)	兼任	講師	野中 寿子 (57) <平成28年4月> 博士(医学) 保育内容指導法(健康)	兼任	講師	野中 寿子 (57) <平成28年4月> 博士(医学) 保育内容指導法(健康)	兼任	講師	野中 寿子 (58) <平成28年4月> 博士(医学) 保育内容指導法(健康)	兼任	講師	野中 寿子 (59) <平成28年4月> 博士(医学) 保育内容指導法(健康)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

＜専任教員＞

- ・野村教授（専任）及び坪田講師（兼任）が「スポーツ初級A」「スポーツ初級B」の担当を外れるが、他の教員が担当するため教育上支障はない。
- ・坂井准教授（専任）及び沖村助教（専任）が前年度担当を外れた「スポーツ初級A」を担当。
- ・中野准教授（専任）及び四方田講師（専任）が前年度担当を外れた「スポーツ初級B」を担当。

＜兼担・兼任教員＞

- ・金准教授（兼担）、飯島准教授（兼担）が教授に昇任。
- ・安藤講師（兼担）、玉川講師（兼担）、小林講師（兼担）が准教授に昇任。
- ・昨年度、教学上の理由により未開講であった水野教授（兼担）、増田教授（兼担）及び文准教授（兼担）担当の「ボランティア学」を開講。
- ・水野教授（兼担）及び井澤教授（兼担）が「上級まちづくり演習」の担当を外れたが、田中講師（兼担）及び古橋講師（兼任）が担当するため教育上支障はない。
- ・「情報英語演習1」「情報英語演習2」の担当者を加藤講師（兼任）から増田教授（兼担）に変更。
- ・「現代社会と経済」の担当者を伊沢教授（兼担）から矢野講師（兼任）に変更。
- ・「文化人類学入門」の担当者を今村教授（兼担）から宮坂講師（兼任）に変更。
- ・昨年度、教学上の理由により未開講であった曾我教授（兼担）担当の「日本史」を開講。
- ・「日本語表現」の担当教員として早川教授（兼担）が復帰。
- ・大宮准教授（兼担）が割愛により退職したため、科目担当者を以下のように変更。
 - 「ボランティア学」は水野教授（兼担）、増田教授（兼担）及び文准教授（兼担）が担当。
 - 「ボランティア演習」は未開講。次年度は玉川准教授（兼担）、山下講師（兼担）及び越智講師（兼担）が担当。
 - 「道徳教育論」は葛井教授（兼担）が担当。
- ・「日本国憲法」「現代社会と法律」の担当を飯島教授（兼担）から河本講師（兼任）に変更。
- ・「特別活動論」の担当者を松本准教授（兼担）から犬塚教授（兼担）に変更。
- ・「スポーツ中級A」の担当教員として伊藤講師（兼任）を追加。
- ・「死生学」の担当者を中井講師（兼任）から文准教授（兼担）に変更するとともに、「生命倫理」「ボランティア学」の担当教員として追加。
- ・「環境科学」の担当者を稲垣講師（兼任）から杉山講師（兼任）に変更。
- ・「手話」「手話上級」の担当者を今村講師（兼任）から武田講師（兼任）に変更。
- ・「生徒・進路指導論」の担当者を永田講師（兼任）から犬塚教授（兼担）に変更。
- ・「医学一般（概論）」の担当者を後藤講師（兼任）から種田教授（兼担）に変更。
- ・板谷講師（兼任）の本務の関係で「保育内容指導演（健康）」の担当を野中講師（兼任）に変更。
- ・野田講師（兼任）の本務の関係で「生活科教育法」「初等生活」の担当を神谷講師（兼任）に変更。
- ・岡澤教授（兼担）の定年退職により、「社会学入門」「宗教社会学」の担当を宮坂講師（兼任）に変更。
- ・林講師（兼任）の本務の関係で「保育内容指導演（人間関係）」の担当を石川講師（兼任）に変更。
- ・「ボランティア演習」の担当教員として越智講師（兼担）を追加。
- ・「上級まちづくり演習」の担当教員として古橋講師（兼任）を追加。
- ・「インターンシップ」の担当教員として家本教授（兼担）及び田中講師（兼担）を追加。

【平成29年度】

＜専任教員＞

- ・履修者希望者がいないため、田中教授（専任）担当の「児童文化」を未開講。

＜兼担・兼任教員＞

- ・宮坂講師（兼担）、齋藤講師（兼担）が准教授に昇任。
- ・水野教授（兼担）、増田教授（兼担）及び文准教授（兼担）担当の「ボランティア学」は未開講。次年度開講予定。
- ・「インターンシップ」の担当者を松永教授（兼担）から高木教授（兼担）に変更。
- ・小林教授（兼担）の学長就任により、「現代社会と福祉」の担当を外れ後任未定のため未開講。次年度開講に向け調整。
- ・「運動指導演（器械運動、ホール運動）」の担当教員として齋藤教授（兼担）及び早坂准教授（兼担）を追加。
- ・齋藤教授（兼担）が「運動指導演Ⅱ（陸上運動、水泳）」の担当を外れたが、他の教員（4名）が担当するため教育上支障はない。
- ・「運動指導演Ⅱ（陸上運動、水泳）」の担当教員として松田准教授（兼担）及び廣准教授（兼担）を追加。
- ・「健康フィールドワーク」の担当教員として小林准教授（兼担）を追加。
- ・廣准教授（兼担）が「運動指導演Ⅰ（器械運動、ホール運動）」の担当を外れたが、他の教員（4名）が担当するため教育上支障はない。
- ・「ボランティア演習」の担当教員として文准教授（兼担）を追加。
- ・本務の関係で、杉山講師（兼任）担当の「環境科学」は未開講。次年度開講に向け調整。
- ・履修者希望者がいないため、古山講師（兼任）担当の「障害児の保育と教育」を未開講。
- ・「こども家庭福祉論」の担当者を貴田講師（兼任）から古山講師（兼任）に変更したが、履修者希望者がいないため未開講。
- ・本務の関係で、板谷講師（兼任）担当の「保育内容演習（健康）」は野中講師（兼任）へ、「幼児体育」は早川講師（兼任）へ担当者変更。
- ・履修者希望者がいないため、野中講師（兼任）担当の「保育内容演習（健康）」を未開講。
- ・健康上の理由により、成瀬講師（兼任）が就任辞退し、「こどもの表現運動」を未開講。次年度開講に向け調整。
- ・本務の関係で、滝村講師（兼任）担当の「障害者福祉論」を渡邊講師（兼任）に変更。
- ・「教職原論」、「学級経営論」の担当者を貝川講師（兼任）から水谷講師（兼任）に変更。
- ・履修者希望者がいないため、横井講師（兼任）担当の「保育内容演習（環境）」を未開講。
- ・本務の関係で、林講師（兼任）担当の「保育内容演習（人間関係）」を鈴木講師（兼任）に変更。
- ・「保育内容指導演（人間関係）」の担当者を石川講師（兼任）から鈴木講師（兼任）に変更。
- ・「上級まちづくり演習」の担当教員として越智講師（兼担）を追加。
- ・「スポーツ初級A」の担当教員として鬼頭講師（兼任）を追加。

【平成30年度】

＜専任教員＞

- ・任期満了により、学部長を野村教授（専任）から齋藤教授（兼担）に変更。
- ・野村教授（専任）が「国際スポーツ健康事情」の担当を外れ、齋藤教授（兼担）が担当。
- ・履修者希望者がいないため、野村教授担当の「こども健康教育論」を未開講。
- ・野村教授、谷口教授、田中教授、中野准教授、坂井准教授、宇野准教授、小林准教授、梶浦講師、四方田講師、岸本講師、沖村助教が「基礎セミナー」の担当を外れ、他の教員（4名）が担当。
- ・野村教授、谷口教授、田中教授、中野准教授、坂井准教授、宇野准教授、小林准教授、梶浦講師、四方田講師、岸本講師、沖村助教が「基礎セミナーⅡ」の担当を外れ、他の教員（4名）が担当。
- ・野村教授、田中教授、滝波教授、吉田教授、中野准教授、坂井准教授、宇野准教授、梶浦講師、四方田講師、岸本講師、菊池講師、沖村助教が「専門演習」の担当を外れ、他の教員（3名）が担当。
- ・野村教授、田中教授、吉田教授、坂井准教授、梶浦講師、菊池講師が「研究演習」の担当を外れ、他の教員（11名）が担当。
- ・田中教授が健康上の理由により退職、梶浦講師が自己都合により退職。以下のように兼任教員補充等により、教育上支障がないように配慮した。
 - 田中教授の「保育原理」「保育内容総論」「保育課程論」は吉田龍講師（兼任）に変更。「児童文化」は履修者希望者がいないため、未開講。
 - 梶浦講師の「保育内容指導演（表現・造形）」「保育内容演習（表現・造形）」は古川講師（兼任）に変更。「総合表現活動」は履修者希望者がいないため、未開講。
 - 田中教授、梶浦講師の「幼稚園事前実習・事後指導」「教育実習1（幼稚園）」「教育実習2（幼稚園）」は岸本講師が担当。
 - 田中教授、梶浦講師の「教職実践演習（幼・小）」は他の専任教員（9名）が担当。
- ・履修者希望者がいないため、吉田淳教授担当の「理科教育実践論」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、宇野准教授担当の「初等算数（演習）」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、四方田講師担当の「体育科教育実践論」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、菊池講師担当の「社会科教育実践論」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、岸本講師担当の「総合表現活動」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、吉田淳教授、菊池講師担当の「研究演習」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、滝波教授、谷口教授、吉田淳教授、宇野准教授、江田准教授、坂井准教授、菊池講師、四方田講師担当の「卒業研究」を未開講。

＜兼担・兼任教員＞

- ・伊藤講師（兼担）、山下講師（兼担）、國原講師（兼担）が准教授に昇任。
- ・昨年度、教学上の理由により未開講であった水野教授（兼担）、増田教授（兼担）及び文准教授（兼担）担当の「ボランティア学」を開講。
- ・小川教授（兼担）担当の「会計入門」は教学上の理由により未開講。次年度開講に向け調整。
- ・小林教授（兼担）の「現代社会と福祉」は後任補充ができないため未開講。次年度開講に向け調整。
- ・安藤准教授（兼担）担当の「キャリアデザイン3a」は教学上の理由により未開講。次年度開講に向け調整。
- ・小林記之准教授（兼担）が在外研修のため、「地球科学概論」「地球物理学概論」「物理学」「地球環境学」は未開講。次年度開講に向け調整。「健康フィールドワーク」は中野准教授（専任）が担当。
- ・「死生学」の担当者を文准教授（兼担）から神山講師（兼任）に変更。
- ・杉山講師（兼任）担当の「環境科学」は担当者の後任補充ができないため未開講。次年度開講に向け調整。
- ・武田講師（兼任）担当の「手話」「手話上級」は教学上の理由により未開講。次年度開講に向け調整。
- ・履修者希望者がいないため、永田講師（兼任）担当の「特別支援教育論」を未開講。
- ・大野講師（兼任）の健康上の理由により、「看護学概論」を未開講。秋学期開講に向け調整中。
- ・昨年度、履修者希望者がいないため未開講であった古山講師（兼任）担当の「障害児の保育と教育」「こども家庭福祉論」を開講。
- ・履修者希望者がいないため、渡邊講師（兼任）担当の「障害者福祉論」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、小田講師（兼任）担当の「こどもの医学」を未開講。
- ・履修者希望者がいないため、渡邊講師（兼任）担当の「初等家庭科」を未開講。
- ・昨年度、履修者希望者がいないため未開講であった横井講師（兼任）担当の「保育内容演習（環境）」を開講。
- ・玉川准教授（兼担）及び山下准教授（兼担）が「ボランティア演習」の担当を外れ、他の教員（2名）が担当。

- ・越智講師(兼任)の任期満了による退職のため、後任として澤田講師(兼任)を採用。「減災福祉まちづくり学」「同演習」「上級まちづくり演習」を担当。「ボランティア演習」は他の教員(2名)が担当。
- ・古橋講師(兼任)が「地域商業まちづくり学」「地域商業まちづくり演習」担当から外れ、未開講。次年度開講に向け調整。「上級まちづくり演習」は他の教員(2名)が担当。
- ・葛井教授(兼任)の定年退職に伴い兼任講師として採用し、「道徳教育論」を担当。
- ・矢野講師(兼任)担当の「現代社会と経済」は、教学上の理由により未開講。次年度開講に向け調整。
- ・野中講師(兼任)担当の「保育内容演習(健康)」は履修希望者がいないため、未開講。
- ・鬼頭講師(兼任)が「スポーツ初級A」の担当を外れ、他の教員(7名)が担当。
- ・「ボランティア演習」の担当教員として神山講師(兼任)を追加。
- ・「こどもの表現運動」の担当教員として豊永講師(兼任)及び倉田講師(兼任)を追加。

【令和元年度】

＜専任教員＞

- ・吉田龍准教授(専任)、古川講師(専任)が就任。(平成30年11月9日付けの平成30年度設置計画履行状況等調査面接調査時に教員個人調査、教育研究業績書を提出)
- ・中野准教授(専任)、宇野准教授(専任)が教授に、四方田講師(専任)、菊池講師(専任)、岸本講師(専任)が准教授に、沖村助教(専任)が講師に昇任。
- ・野村教授が定年退職。以下のように担当教員の変更等を行い、教育上支障がないよう配慮した。
 - 「スポーツ中級A」は伊藤准教授(兼任)が担当。
 - 「健康科学概論」は中野教授(専任)、山本教授(兼任)、酒井教授(兼任)、金教授(兼任)、廣准教授(兼任)が担当。
 - 「こどもと健康」は中野教授(専任)が担当。
 - 「学校保健・安全論」は大塚講師(兼任)が担当。
 - 「卒業研究」は他の専任教員(11名)が担当。
- ・「発展セミナー」の担当者として谷口教授(専任)、宇野教授(専任)、四方田准教授(専任)、岸本准教授(専任)、吉田龍准教授(専任)、古川講師(専任)を追加。
- ・谷口教授(専任)、江田准教授(専任)、小林准教授(専任)、小川准教授(専任)が「専門演習」の担当を外れ、昨年度担当を外れた吉田淳教授(専任)、菊池准教授(専任)が担当。
- ・滝浪教授(専任)、吉田淳教授(専任)、江田准教授(専任)、菊池准教授(専任)が「基礎セミナー」の担当を外れ、昨年度担当を外れた谷口教授(専任)、宇野教授(専任)、四方田准教授、岸本准教授(専任)及び吉田龍准教授(専任)、古川講師(専任)を追加。
- ・滝浪教授(専任)、吉田淳教授(専任)、江田准教授(専任)、菊池准教授(専任)が「基礎セミナーⅡ」の担当を外れた。
- ・「日本語表現」の担当者として滝浪教授(専任)を追加。
- ・履修希望者がいないため、吉田淳教授(専任)担当の「理科教育実践論」を未開講。
- ・沖村講師(専任)が「研究演習」の担当を外れ、昨年度担当を外れた吉田淳教授(専任)、菊池准教授(専任)を追加。
- ・中野教授(専任)、沖村講師(専任)が「スポーツ初級A」の担当を外れ、他の教員(7名)が担当。
- ・「【教養】スポーツ初級b」の担当者として中野教授(専任)、沖村講師(専任)を追加。
- ・中野教授(専任)担当の「こどもの生活と健康運動」は未開講。
- ・昨年度、履修希望者がいないため未開講であった宇野教授(専任)の「初等算数(演習)」を開講。
- ・「【教養】スポーツ初級a」の担当者として坂井准教授(専任)、四方田淳教授(専任)を追加。
- ・坂井准教授(専任)、四方田准教授(専任)が「スポーツ初級B」の担当を外れ、他の教員(6名)が担当。
- ・坂井准教授(専任)の「卒業研究」を未開講。
- ・「【教養】外国文化論」の担当者として江田准教授(専任)を追加。
- ・履修希望者がいないため、江田准教授(専任)担当の「初等音楽(器楽)」を未開講。
- ・履修希望者がいないため、四方田准教授(専任)担当の「体育科教育実践論」を未開講。
- ・「【教養】政治学」、「【教養】平和学」の担当者として菊池准教授を追加。
- ・昨年度、履修希望者がいないため未開講であった菊池准教授(専任)の「社会科教育実践論」を開講。
- ・昨年度、履修希望者がいないため未開講であった岸本准教授(専任)の「総合表現活動」を開講。
- ・「保育原理」、「保育内容総論」、「保育課程論」の担当者として吉田龍准教授(専任)を追加。
- ・「幼稚園事前実習、事後指導」、「教育実習1(幼稚園)」、「教育実習2(幼稚園)」の担当者として吉田龍准教授(専任)、古川講師(専任)を追加。
- ・沖村講師(専任)担当の「こどもと地域社会」は未開講。次年度開講に向け調整。
- ・「保育内容指導法(表現・造形)」、「保育内容演習(表現・造形)」の担当者として古川講師(専任)を追加。

＜兼任・兼任教員＞

- ・「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」の担当者として高見教授(兼任)を追加。
- ・水野教授(兼任)、増田教授(兼任)、文准教授(兼任)担当の「ボランティア学」は未開講。次年度開講に向け調整。
- ・「英会話1」、「英会話2」の担当者として増田教授(兼任)を追加。
- ・増田教授(兼任)が「実用英語演習1」、「実用英語演習2」の担当を外れ、Ryan Barnes講師(兼任)を追加。なお、履修希望者がいないため、「実用英語演習」を未開講。
- ・履修希望者がいないため、増田教授(兼任)担当の「情報英語演習1」を未開講。
- ・「インターンシップ1」、「インターンシップ2」の担当者として高木教授(兼任)を追加。
- ・「【教養】哲学」の担当者として持田教授(兼任)を追加。
- ・持田教授(兼任)担当の「哲学史」、「心身関係論」は未開講。
- ・「【教養】経済学」の担当者として伊沢教授(兼任)を追加。
- ・昨年度、教学上の理由で未開講であった小川教授(兼任)担当の「会計入門」を開講。
- ・「【教養】数学」、「【教養】統計学」の担当者として宝島教授(兼任)を追加。
- ・「【教養】文化人類学」の担当者として今村教授(兼任)、宮坂准教授(兼任)を追加。
- ・木村教授(兼任)担当の「生命倫理」、「生態学」、「地域生態論」は未開講。
- ・曾我教授(兼任)が「日本史」の担当を外れ、上野講師(兼任)が担当。
- ・曾我教授担当の「日本文化史」は未開講。
- ・早川厚(兼任)教授が定年退職。「日本語表現」、「日本語表現上級」は他の教員(各科目1名ずつ)が担当。
- ・廣准教授(兼任)が「スポーツ初級A」の担当を外れ、山本教授(兼任)、松田准教授(兼任)、箕輪教授(兼任)を追加。
- ・「【教養】スポーツ初級a」の担当者として山本教授(兼任)、齋藤教授(兼任)、松田准教授(兼任)、伊藤准教授(兼任)、箕輪教授(兼任)を追加。
- ・山本教授(兼任)、吉田正教授(兼任)が「スポーツ初級B」の担当を外れ、齋藤教授(兼任)、箕輪教授(兼任)を追加。
- ・吉田正教授(兼任)が「スポーツ科学概論」の担当を外れ、他の教員(5名)が担当。
- ・吉田正教授(兼任)が「スポーツ原理」の担当を外れ、近藤教授(兼任)が担当。
- ・「【教養】スポーツ初級b」の担当者として齋藤教授(兼任)、伊藤准教授(兼任)、廣准教授(兼任)、箕輪教授(兼任)を追加。
- ・「【教養】心理学」の担当者として金教授(兼任)を追加。
- ・金教授(兼任)担当の「生涯発達心理学」は未開講。次年度開講に向け調整。
- ・江利川講師(兼任)が「キャリアデザイン2a」、「キャリアデザイン2b」の担当を外れ、山崎講師(兼任)を追加。
- ・「【教養】社会学」の担当者として宮坂准教授(兼任)を追加。
- ・「【教養】生物学」の担当者として齋藤准教授(兼任)を追加。
- ・昨年度在外研修で未開講であった小林記准教授(兼任)担当の「地球科学概論」、「地球物理学概論」、「物理学」、「地球環境学」を開講。
- ・「【教養】物理学」、「【教養】地学」、「【教養】環境学」、「健康フィールドワーク」の担当者として小林記准教授(兼任)を追加。
- ・「まちづくり学」の担当者として田中智講師(兼任)、澤田講師(兼任)を追加。
- ・瀧野講師(兼任)が「日本語表現」の担当を外れ、他の教員(1名)が担当。
- ・「【教養】化学」の担当者として長講師(兼任)を追加。
- ・八木講師(兼任)が「陶芸論」、「陶芸演習」の担当を外れ、加藤裕講師(兼任)が担当。
- ・「【教養】陶芸論」、「【教養】陶芸演習」の担当者として加藤裕講師(兼任)を追加。
- ・昨年度未開講であった「手話」、「手話上級」は海野講師(兼任)担当として開講。
- ・山本裕講師(兼任)が「スポーツ心理学」の担当を外れ、山田憲講師(兼任)が担当。
- ・坪内講師(兼任)が「栄養学概論」の担当を外れ、堀西講師(兼任)が担当。
- ・昨年度、健康上の理由で未開講であった大野講師(兼任)担当の「看護学概論」を開講。
- ・昨年度、履修希望者がいないため未開講であった渡邊講師(兼任)の「障害者福祉論」を開講。
- ・昨年度、履修希望者がいないため未開講であった小田講師(兼任)の「こどもの医学」を開講。
- ・履修希望者がいないため、渡邊講師(兼任)担当の「初等家庭科」を未開講。
- ・神谷講師(兼任)が「生活科教育法」、「初等生活」の担当を外れ、加納講師(兼任)が担当。
- ・「現代社会と福祉」の担当者として澤田講師(兼任)を追加。
- ・「【教養】日本国憲法」、「【教養】法学」の担当者として河本講師(兼任)を追加。
- ・池田講師(兼任)担当の「家庭支援論」は未開講。次年度開講に向け調整。
- ・種田教授(兼任)が「医学一般(概論)」の担当を外れ、吉田行教授(兼任)が担当。
- ・文准教授(兼任)担当の「生命倫理」は未開講。
- ・文准教授(兼任)が「ボランティア演習」の担当を外れ、神山講師(兼任)が担当。
- ・履修希望者がいないため、野中講師(兼任)担当の「保育内容演習(健康)」を未開講。
- ・神山講師(兼任)が「死生学」の担当を外れ、日沖講師(兼任)が担当。
- ・「基礎英語1」、「基礎英語2」の担当者として平石講師(兼任)、飯野講師(兼任)を追加。
- ・「英会話1」、「英会話2」の担当者としてD.S.ポイヤール講師(兼任)、飯野講師(兼任)を追加。
- ・「【教養】日本史」の担当者として上野講師(兼任)を追加。
- ・「環境科学」、「【教養】環境学」の担当者として海川講師(兼任)を追加。
- ・「特別支援教育論」の担当者として伊藤佐講師(兼任)を追加。
- ・履修希望者がいないため、吉田淳教授(専任)、菊池准教授(専任)、沖村講師(専任)担当の「卒業研究」を未開講。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
5	5	4	1	15	5	7	2	0	14
(5)	(5)	(4)	(1)	(15)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
5	7	2	0	14	5	7	2	0	14
[0]	[+2]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[+2]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	田中 まさ子	H30.3	必修	基礎セミナー	①	平成30年3月31日付け、健康上の理由により辞任。吉田龍宏兼任講師が後任として科目を担当し、平成31年度から専任准教授として就任予定である(30)。 平成31年4月1日付け、吉田龍宏兼任講師が専任准教授として就任。(元)
				選択	基礎セミナーⅡ	③	
				必修	保育原理	①	
				必修	保育内容総論	①	
				必修	保育課程論	①	
				選択	児童文化	③	
				選択	幼稚園実習事前・事後指導	①	
				選択	教育実習1(幼稚園)	①	
				選択	教育実習2(幼稚園)	①	
				選択	教職実践演習(幼・小)	①	
				必修	専門演習	①	
必修	研究演習	①					
必修	卒業研究	①					
2	講師	梶浦 恭子	H30.3	必修	基礎セミナー	①	平成30年3月31日付け、自己都合により辞任。古川洋子兼任講師が後任として科目を担当し、平成31年度から専任講師として就任予定である(30)。 平成31年4月1日付け、古川洋子兼任講師が専任講師として就任。(元)
				選択	基礎セミナーⅡ	③	
				必修	保育内容指導法(表現・造形)	①	
				選択	保育内容演習(表現・造形)	①	
				選択	総合表現活動	①	
				選択	幼稚園実習事前・事後指導	①	
				選択	教育実習1(幼稚園)	①	
				選択	教育実習2(幼稚園)	①	
				選択	教職実践演習(幼・小)	①	
				必修	専門演習	①	
				必修	研究演習	①	
必修	卒業研究	①					

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目
	選択	13	科目	選択	10	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	25	科目	計	22	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	13 科目	選択	10 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	25 科目	計	22 科目	計	0 科目	計	3 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{15} = 13.33 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	野村 良和	必修	基礎セミナー	①	平成31年3月末をもって定年退職。 カリキュラム改定により、基礎セミナーⅡ（1年次配当科目）が廃止となり、代替科目として発展セミナーを新設。発展セミナーは専任教員が担当。
			選択	基礎セミナーⅡ	③	
			選択	スポーツ初級A	①	
			選択	スポーツ初級B	①	
			選択	スポーツ中級A	②	
			必修	健康科学概論 ※	①	
			選択	国際スポーツ健康事情	②	
			選択	こども健康教育論	③	
			必修	こどもと健康	①	
			選択	学校保健・安全論	②	
			必修	専門演習	①	
			必修	研究演習	①	
必修	卒業研究	①				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	2 科目	選択	3 科目	選択	2 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	13 科目	計	8 科目	計	3 科目	計	2 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

田中まさ子教授、梶浦恭子講師の担当科目については、後任の専任教員（吉田龍宏准教授、古川洋子講師）や他の専任教員が担当し、学生の履修上の不利益が生じないよう配慮している。学生に対しては、履修登録システムにおいて周知している。吉田龍宏准教授及び古川洋子講師は上記2名の教員の補充であり、平成31年4月1日付けで就任した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認可時 (平成26年10月)</p>	<p>本学科の教育の特色として掲げている地域連携による体験学習については、さらなる内容の充実を図ること。</p> <p>留意事項</p>	<p>本学はスポーツ健康学部の所在地である瀬戸市教育委員会との間で、教職課程加入学生の派遣（教育現場観察）及び教育活動支援のボランティア学生の派遣に関して協定を締結している。これに基づき、こどもスポーツ教育学科は、3年次以後の教育実習に先立ち、2年次前期の学科専門科目「専門演習」の時間内で地域の小学校及び幼稚園において教育実情の見学を行うこととしている。</p> <p>さらに、平成27年3月には瀬戸キャンパスと隣接する岐阜県多治見市と連携協定を新たに締結した。今後、瀬戸市と併せて教育実践のフィールドとしていくことで、地域連携による体験学習の充実を図る。</p> <p>また、地（知）の拠点整備事業の一環として、平成27年度より1年次必修の「基礎セミナー」の一部を活用して、学部教育の視点から瀬戸市の地域活性化等のテーマについて学生がパワーポイントを駆使して取りまとめを行う。（27）</p> <p>前年度報告に基づき、各年次の体験学習を進めていく。昨年度は、2015年10月に瀬戸市立品野台小学校に学生10名、教員11名が出向き、教頭から情報を得るとともに授業現場の参観を行った。その際に十分に事前指導を行い、実習後にレポートを作成させることにより、学習成果の確認を行った。12月には瀬戸市のマリア幼稚園において、学科生全員の幼稚園体験（観察）を実施した。そしてその学習成果についてもレポートによる確認を行った。（28）</p> <p>昨年度は2年次前期の学科専門科目「専門演習」の時間内で地域の小学校及び幼稚園における教育実情の見学に関する事前指導及び実施後の指導を行った。実地での幼稚園の見学は9月に瀬戸市のマリア幼稚園で、小学校の見学は2017年2月に瀬戸市立幡山東小学校で実施した。また昨年度に引き続き、2016年10月に瀬戸市立品野台小学校に学生38名、教員11名が出向き、校長から情報を得るとともに授業現場の参観を行った。その際に十分に事前指導を行い、実習後にレポートを作成させることにより、学習成果の確認を行った。2017年2月には瀬戸市のマリア幼稚園において、学科生全員の幼稚園体験（観察）を実施した。そしてその学習成果についてもレポートによる確認を行った。（29）</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成26年10月)		留意事項 平成29年度も2年次の専門科目「専門演習」の時間内で、地域の小学校及び幼稚園における教育実情の見学に関する事前指導及び事後指導を行った。幼稚園の見学は平成29年9月と平成30年1月に瀬戸市のマリア幼稚園と瀬戸幼稚園で実施した。参加者はマリア幼稚園が39人、瀬戸幼稚園が21人であった。小学校については平成29年10月に瀬戸市立品野台小学校に37人、平成30年2月に瀬戸市立幡山東小学校に9人で授業参観を行うとともに、校長から情報を得た。これらの学外実習に際しては十分に事前指導を行い、実習後にレポートを作成させることにより、学修成果の確認を行った。(30)	履行済
認 可 時 (平成26年10月)	教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで教員を充足すること。	留意事項 1年次後期開講の「スポーツ実技11(スキー)」について、「兼任補充可」とされていた。スキーに関する十分な指導歴を持ち、既設学部で担当実績のある角田和代兼任講師が科目を担当することとした。(27) 昨年同様、角田和代兼任講師が科目を担当する。(28) 昨年同様、角田和代兼任講師が科目を担当する。(29) 昨年同様、角田和代兼任講師が科目を担当する。(30)	履行済
設置計画履行状況調査時 (平成28年2月)	スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 開設初年度の入学者は12名であったが、平成28年度は38名に改善された。今年度は以下の取組を行い、定員充足を図る。 ①本学科専任教員が昨年訪問した中で出願のあった高等学校を重点校として選び、さらに丁寧な情報提供を行う。それ以外の高等学校については、入学センターの職員が訪問を行いフォローする。②昨年に続き、教育系統志望者へのダイレクトメール送付を実施し、本学科への興味・志願度を上げるよう努める。③高等学校で実施される模擬講義について、可能な限り本学科の講義を実施できるようにする。(28)	履行中
設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)	スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 平成29年度の入学者数は39名となり、定員充足率の平均が0.50から0.59に改善された。平成28年度に実施した取り組みに一定の効果がみられたため、平成29年度も継続実施する。①本学科の特長を簡潔にまとめた統一ビジュアル(写真とキャッチコピー)を制作し、それをを用いて7月に交通広告を実施した。②本学科の教員スタッフ・実習施設紹介のチラシを作成し、5月から8月にかけて、本学科の専任教員が東海地方を中心に約200校の高校訪問を実施した。③大手予備校などのデータを活用し教員養成系統志望者へダイレクトメールを配布し、マーケットの拡大を図った。 また、平成29年(2017)年度からは、瀬戸市小学校長経験者が特任教授として就任し、教職センターで教職指導を行うとともに、教育現場観察や教育活動支援等に関して教育委員会との連携をより強化する。広報、学生募集において、このように教員養成の指導が強化されることをPRし、定員充足を図る。(29)	履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
設置計画履行 状況調査時 (平成29年2 月)	国際文化学部国 際協力学科の定 員充足率の平均 が0.7倍未満 となっているこ とから、学生確 保に努めるとと もに、入学定員 の見直しについ て検討すること	国際協力学科では平成28年度の入学者が22名であったが、以下の取り組みにより平成29年度の入学者は45名となり、定員充足率の平均が0.73に改善された。 ①前年度に引き続き、大手予備校などのデータを活用し国際学系統志望者へダイレクトメールを配布し、マーケットの拡大を図った。 ②第8代ユネスコ事務局長であった松浦晃一郎氏を本学特任教授として招聘し、11月22日に公開授業を実施するとともに、学生の海外スタディツアーや海外ボランティアの報告等も実施するなど、本学科の広報活動を推進した。 ③本学科の教育内容を紹介するパンフレットを新たに制作し、学科のゼミ活動や海外スタディツアーの成果等を取りまとめ、高校訪問、進学相談会等で配布・紹介した。 ④本学科の学びの内容と意義をわかりやすく伝えられるよう、進学相談会や高校での模擬授業には他学科より優先的に参加した。 ⑤英検、TOEIC、GTECなど英語関連資格の取得者を対象としたグローバル人材特別入試を新たに導入した。 平成29年度においては、以下外国語・国際教育に関するハード・ソフト両面での充実を強くPRするとともに、高大連携の充実を図る取り組みを行い、定員充足を図る。 ①平成30(2018)年9月、名古屋キャンパス白鳥学舎の近隣に新学舎「大宝学舎」を開設し、本学がこれまで重点的に取り組んできた外国語・国際教育に関するハード面の充実を図る。 ②大宝学舎を活用して、とりわけ国際文化学部及び外国語学部の語学授業やアクティブ・ラーニングと授業外学習及びその支援、外国人留学生との交流等を集約的に提供し、ソフト面の充実を図る。 ③愛知県はユネスコスクールの活動の先進地域であることから、個別高等学校に直接的に連携を働き掛け、高校生・留学生・本学部生の交流活動や共同作業を伴うような事業の検討を進める(29)	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行 状況調査時 (平成30年2 月)	スポーツ健康学 部こどもスポー ツ教育学科の定 員充足率の平均 が0.7倍未満と なっていること から、学生確保 に努めるととも に、入学定員の 見直しについて 検討すること。	本学科の開設初年度の入学者が12人と なったことを受け、高等学校の進路指導教 員や受験生の認知度を更に高めるために、 開設2年目から3年目にかけて以下の取組を 実施した。 ① 学科の特長を簡潔にまとめた統一ビ ジュアル(写真とキャッチコピー)を用い たホームページ・パンフレット・ダイレク トメール・交通広告等の展開。 ② 本学科の専任教員及び実習施設紹介の チラシを作成し、専任教員による高校訪問 の実施。 ③ 大手予備校等のデータを活用し、教員 養成系志望者へのダイレクトメール発 送。 その結果、開設後の入学定員超過率は、 0.24倍、0.76倍、0.78倍と改善傾向を示し てきた。そこで、完成年度の募集において は、専任教員による高校訪問、教員養成系 志望者へのダイレクトメールを継続実施 し、さらに、瀬戸市立中学校校長経験者を 特任教授として採用し教職指導の充実や教 育委員会との連携強化を図った。しかし、 志願者数は横ばい状況から脱し得ず、平成 30年度の入学定員超過率は0.52倍となり、 定員充足率の平均は前年度の0.59から0.57 に低下した。その背景として、私立大学に おける教員養成系学部への入学定員超過率が 全国的に低下傾向にあることも一因と考え られ、本学科開設の平成27年度から平成29 年度にかけて、全国で1.06倍から1.02倍 に、愛知県で1.00倍から0.98倍へと低下し ている。 こうした状況を踏まえ、平成31年度入学 者の募集においても前年度までの取組を継 続実施するとともに、来春卒業する第1期 生の進路状況をPRすることにより、定員充 足を図る。あわせて、完成年度後の入学定 員の見直しを含め、今年度中に方向性を確 定する予定である。 注) データ出所 日本私立学校振興・共済事業団「私立大 学・短期大学等入学志願動向」 各大学のウェブサイト(30)	履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設置計画履行 状況調査時 (平成31年3 月)	完成年度にもか かわらず専任教 員数が認可時の 計画から減少し ている。提示さ れた教員の採用 計画を確実に履 行するよう努め るとともに、今 後、新たに教員 の採用及び昇格 の選考を行う際 には設置計画履 行状況等調査に おける教員審査 を受審すること。 (スポーツ 健康学部こども スポーツ教育学 科)	指摘事項 (改善)	<p>平成30年3月31日付けで、専任教員2名が退職した。平成30年4月の教職課程再課程認定申請に向けて全国的な教育学分野の教員確保が激化する中、平成29年10月より後任の募集を開始し、平成30年1月付け1名及び3月付け1名の計2名について教職課程再課程に伴う専任教員候補として申請することを決定したが、各種手続きの関係上、この2名の就任は平成31年4月1日付けとなった。</p> <p>上記については、平成30年度設置計画履行状況等調査面接調査（平成30年11月9日）において報告した。また、2名の教員については、平成31年4月1日付けで専任准教授（1名）及び専任講師（1名）として就任した。</p> <p>なお、平成31年3月末をもって野村教授が定年退職したが、①野村教授が担当していた科目については、他の教員が担当可能であること、また、それに伴う教育上の支障がないこと、②今後定員数の変更（50名から40名に変更）を予定し、現状の体制で支障がないことから、令和元年5月以降の教員採用は予定しておらず、教員の昇格も予定していない。（元）</p>	履行済
設置計画履行 状況調査時 (平成31年3 月)	入学定員未充足 の改善に努める こと。（スポーツ 健康学部こども スポーツ教育学 科）	指摘事項 (改善)	<p>本学科は開設当初より一度も定員充足ができておらず、毎年度学生確保に向けた取り組みのPDCAサイクルを実行しながら学生確保に努めてきた。平成30年度は以下を中心に取り組んだ。①本学科専用のチラシ（オープンキャンパス案内、学びの特色、サポート体制、進路などを掲載）を持参し、東海3県を中心とした専任教員による高校訪問、②4月、10月、11月、12月の年4回、教員養成系志望者へダイレクトメールの送付、③元瀬戸市立中学校校長経験者（特任教授）による教職指導の充実や教育委員会との連携強化、④第1期生の進路状況のPR。</p> <p>この結果、平成31年度入試の入学者が50名となり、開設以降初めて入学定員を充足した。今後、継続して入学定員を充足できるよう、引き続き前年度と同様の広報を中心として実施していく。</p> <p>また、常任理事会のもと、学部改組検討委員会（平成30年12月、平成31年1月、3月開催）を設置し、定員見直しの検討を行い、現行の50名から40名へ変更する意思決定を行った。（元）</p>	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

別添「FD委員会規程」に基づき、全学的なFD委員会の下部組織に、スポーツ健康学部FD委員会を設置している。スポーツ健康学部FD委員会の構成は学部長を委員長とし、5名の専任教員（教務委員と同一）により構成する。また、こどもスポーツ教育学科では、「こどもスポーツ教育学科運営会議」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・年数回のこどもスポーツ教育学科運営会議に学科教員14名が参加している。
- ・年数回のスポーツ健康学部FD委員会に学科教員4名が参加している。
- ・年数回～十回のコロキウム（学部研究会、意見交換会）に学部教員24名が参加している。

c 委員会の審議事項等

- ・学科教員の学科運営に関するコンセンサスの確保
- ・学生動向の報告確認
- ・学部学科の定員確保の方策
- ・採用試験合格実績を上げるために必要なサポート体制の充実について
- ・その他学生サポートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・関係教員の話し合いにより、一年次基礎セミナー、二年次専門演習といったゼミの運営については、さらに教職の意識を高めるためのプログラム内容（例えば、小学校や幼稚園の見学）を盛り込むことで検討された。
- ・成績の評価については、学生のモチベーションを向上させる狙いも考慮しつつ、学科内で共通理解を得ることができた。
- ・高校訪問やオープンキャンパス、模擬講義などを充実するとともに、愛知県と周辺近県を重点化する。また、在学生の出身県によっては、本学科の特徴を在学生から高校教員に話す機会をつくる。幼小の教職課程としての認知度が未だ低く、本学科についての進学情報を入学センターから高校や予備校などにも流すようにする。
- ・教員採用試験対策として、採用試験勉強会、各種の学校ボランティア活動に学生が参加することを支援することができた。教育懇話会を開催し、学生の模擬授業に対する指導を行うと同時に、学生同士の意見交換を行わせた。
- ・進路指導についての相談や指導を、研究演習や卒業研究ゼミ担当のクラスアドバイザーを中心に実施した。

b 実施方法

- ・こどもスポーツ教育学科運営会議は、会議長が必要に応じて学科構成員を招集し、あらかじめ用意した協議事項に関する原案を元に討議する。
- ・スポーツ健康学部FD委員会は、学部教務委員会後、必要に応じて学部長が招集し、こどもスポーツ教育学科教務担当教員4名が、スポーツ健康学科教務担当教員3名とともに、あらかじめ用意された検討事項をもとに討議する。
- ・コロキウムは、学部教授会後、学部長が提案した検討事項を元に、両学科教員が意見交換、あるいは協議する。研究会の場合は発表担当教員のプレゼンテーションをもとに意見交換を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・こどもスポーツ教育学科運営会議を平成30年4月25日に会議を開催し、学科教員13名中、12名が参加した。
- ・スポーツ健康学部FD委員会を平成30年5月16日に開催し、学部教員24名中、23名が参加した。
- ・コロキウムは平成30年4月11日、5月16日、10月10日、12月12日、平成31年2月13日に開催し、両学科合わせて常に20名以上が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・新入学生のプレイメントテストや入試得点などについて教員間で情報共有した上で授業を実施した。
- ・学科の一期生が採用試験を受験するに当たって、公務員講座以外に、学科教員による対策指導の体制強化を図った。
- ・基礎セミナー、専門演習などの初年次教育、導入教育の実施方法、内容の充実を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度の授業アンケートは下記の日程で実施した。

春学期：6月18日～7月1日

秋学期：11月26日～12月9日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教職員、学生とも、担当部署（教務課・瀬戸キャンパス総合事務部）にて閲覧することができる。
教員は自身の担当科目を、学内イントラネットでも閲覧できる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

少子高齢化の進展や生活習慣病の増加が深刻な社会問題となっており、他方では国民のスポーツ需要や健康志向が高まっている現在、第一に取り上げるべき課題は、幼児期からの一貫した運動・スポーツを通して、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会を形成することであろう。その中でも、成長の重要な時期である幼児期や児童期における運動・スポーツによって、思考力・創造力・判断力等の感性、協応性・巧緻性・平衡性などの身体的能力及び運動やスポーツを行う習慣を育成することは、生涯にわたる健康の大切な基礎となる。

しかし、このような幼児期や児童期における運動・スポーツの重要性とは裏腹に、その実態や環境は充実しているとは言いがたい。そこで、スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科は、こどもの運動やスポーツに関する教育研究を基盤として、小学校、幼稚園教諭の養成に必要な教育研究の提供により、こどもの心身ともに健やかな成長に貢献できる、高度な専門知識と実践的な教育力を持った人材を育成することを設置の理念としている。

上記の設置理念を達成するために、本学科は以下の方針で教育課程を編成している。

① 学士課程教育の基礎となる幅広い教養と豊かな人間性を養うために『NGU教養スタンダード科目』を配置する。
② スポーツ健康学部の2学科に共通して求められる専門基礎の修得のため、「スポーツ」と「健康」をキーワードとした『学部共通科目』を配置する。

③ こどもの運動及びこどもの教育に特化した基礎的専門知識を養うため、『学科基礎科目』を配置する。

④ 『学部共通科目』及び『学科基礎科目』の学修に基づき、より専門的な知識と実践力を養うため『学科専門科目』を配置する。《こどもスポーツ・健康科目》でこどもの健康や運動・スポーツに関する専門知識を修得し、《初等教育科目》及び《幼児教育科目》では教員養成に関する基礎的な知識・技能を学修する。

より具体的には、《NGU教養スタンダード科目》において「キリスト教概説1」「キリスト教概説2」「基礎セミナー」「キャリアデザイン1a」「日本語表現」「基礎英語1.2」「英会話1.2」及び「情報処理基礎」の必修科目並びに多様な選択科目を開講し履修させている。また、『学部共通科目』では、必修の「健康科学概論」及び「スポーツ科学概論」等を履修させるとともに、『学科基礎科目』では、必修の「こどもスポーツ教育論」「発育発達とスポーツ」等を履修させることで、専門科目の導入領域の学修を進めている。これらと並行して、教員免許取得に係る基本科目として「教職原論」「教育心理学1」等を履修させ、2年次以後の学修に備えている。

さらに、1年次は「基礎セミナー」の担当教員を、2年次は「専門演習」の担当者をクラスアドバイザーとして位置づけ、授業内外で個々の学生に対してきめ細やかな指導を行うとともに、教職センターと連携して、入学時からの一貫した教職課程履修の支援を開始している。

開設以来、入学定員50名に対して1年目は入学者12名、2年目は38名、3年目は39名、4年目は26名という大幅な定員割れが続いていたが、教職員一体となって継続的なPR活動を行ってきた結果、5年目は50名の入学者を確保し、定員充足することができた。今後も継続的に本学科設置の趣旨についての広報活動を行い、特に東海圏の高校に認知・理解してもらうことが重要である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和元年11月 公表予定

b 公表方法

自己点検・評価報告書をホームページで公表予定

③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審。「大学基準に適合していると認定する」旨の大学評価（認証評価）結果が通知（平成31年3月12日付）された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年7月予定)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。